

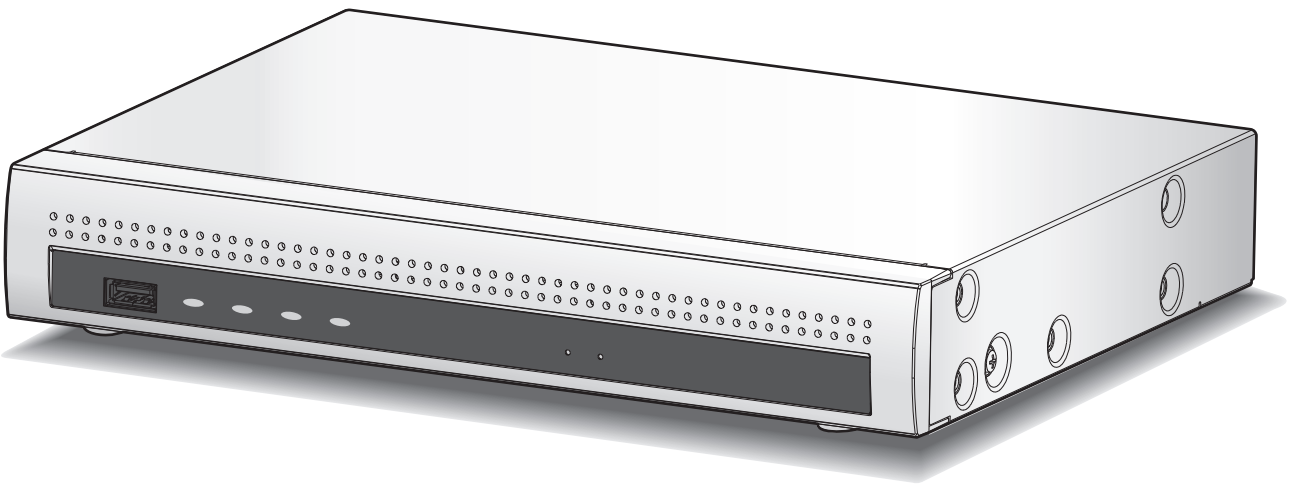
取扱説明書 操作・設定編

ネットワークビデオデコーダー

品番 WJ-GXD300UX

●取扱説明書の構成について

- ・ **設置編：**
必要な機器との接続や設置のしかた、簡単な設定方法について説明しています。
- ・ **基本編：**
商品概要やご使用上の注意、各部の名称や仕様について説明しています。
PDFファイル形式でCD-ROMに納められています。
- ・ **操作・設定編（本書）：**
本機を使用するにあたっての詳細な設定、および操作方法について説明しています。
PDFファイル形式で以下の弊社サポートウェブサイトに掲載しています。
https://i-pro.com/jp/ja/support_portal



本書では、品番の一部を省略している場合があります。

本書は、WJ-GXD300のファームウェアバージョンV5.20に対応した取扱説明書です。

もくじ

はじめに	はじめに	6
	取扱説明書について	6
	略称について	6
	本機の設定、操作について	6
	使用時の制約事項	7
	ご使用の前にお読みください	8
	動作検知機能について	8
	マウス操作について	8

本体設定	本体設定について	9
-------------	-----------------------	----------

基本設定	基本設定を行う [基本設定]	10
	基本設定の各ページを表示する	10
	日時に関する設定を行う [日時]	10
	カメラに関する設定を行う [カメラ]	12
	イベントに関する設定を行う [イベント]	22
	スケジュールに関する設定を行う [スケジュール]	25

詳細設定	モニターの設定を行う [モニター]	27
	メインモニターの設定を行う [メインモニター]	27
	ネットワーク接続に関する設定を行う	
	[ネットワーク]	29
	ネットワークの基本設定を行う [基本]	29
	ネットワーク時刻合わせやSNMPに関する設定を行う	
	[NTP/SNMP]	31
	ユーザー管理に関する設定を行う	
	[ユーザー管理]	32
	ユーザー管理の基本設定を行う [基本]	32
	ユーザー情報を登録/変更/削除する [ユーザー登録]	33
	管理者情報を変更する [管理者設定]	34
	ホスト情報を登録/変更/削除する [ホスト登録]	35

もくじ (つづき)

詳細設定	メンテナンスに関する設定を行う	
	[メンテナンス]	36
	バージョンなどシステム情報を確認する [システム情報]	36
	システムに関する設定や操作を行う [システム管理]	37
	カメラ拡張のライセンスを登録する [ライセンス登録]	39
	セキュア機能の設定を行う [拡張機能]	41

その他	設定項目一覧 (設定メニュー)	43
	エラー履歴・ネットワークログについて	47
	エラー履歴について	47
	ネットワークログについて	48

本体操作

操作の 前に	運用画面について	49
	メインモニター (ライブ画像、設定メニューを表示する モニターです)	49
	アナログモニター (メインモニターの出力をアナログに 変換して表示するモニターです)	52
	基本的な操作のしかた	53
	ログイン操作について	54

見る	カメラのライブ画像を見る	55
-----------	---------------------------	-----------

イベント 機能	イベント機能について	59
	イベント発生時の動作	59
	アラーム動作を解除する	60
	エラー動作を解除する	60

もくじ (つづき)

便利な機能	操作項目一覧 61
--------------	------------------------

ネットワーク設定

操作の前に	ネットワーク設定を行う 62
	本機のネットワーク設定を行う 62
	PCのネットワーク設定を行う 62
	本機のネットワークセキュリティについて 65
	本機に装備されているセキュリティ機能 65
	セキュリティ強化のために 65

ブラウザー設定

操作の前に	設定画面を表示する 67
	設定画面について 68

設定する	設定する 69
	基本的な設定のしかた 69
	ソフトウェアの更新を行う 70

イベント機能	イベント機能について 71
	イベント発生時の動作 71
	アラーム動作を解除する 72
	エラー動作を解除する 72

その他

故障かな!? 73

用語集 75

はじめに

取扱説明書について

取扱説明書は、取扱説明書 設置編、取扱説明書 基本編（PDFファイル）、取扱説明書 操作・設定編（PDFファイル・本書）ほかで構成されています。

- 取扱説明書 設置編 : 必要な機器との接続や設置のしかた、簡単な設定方法について説明しています。
- 取扱説明書 基本編（PDFファイル） : 商品概要やご使用上の注意、各部の名称や仕様について説明しています。
- 取扱説明書 操作・設定編（PDFファイル・本書） : 本機を使用するにあたっての詳細な設定、および操作方法について説明しています。設定時には必ずお読みください。

製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

本書および画面中のGXD300とは本機を表しています。接続可能なネットワークカメラ（以下、カメラ）の品番、バージョンについては本機付属のCD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。また、接続可能なカメラの最新情報や、本機のソフトウェアバージョンアップによる機能追加などの情報については弊社サポートウェブサイト（https://i-pro.com/jp/ja/support_portal）を参照してください。

本書および画面中の弊社およびパナソニック製カメラの詳細については、販売店にお問い合わせください。

略称について

本書では以下の略称を使用しています。
ネットワークカメラをカメラと表記しています。

本機の設定、操作について

- 本機の操作は、本機後面のUSBポートに接続したマウス（付属品）およびソフトキーボードから行います。マウスやソフトキーボード操作のしかたは取扱説明書 設置編の「基本的な操作のしかた」をお読みください。
- 本機の設定は、パーソナルコンピューター（以下、PC）のウェブブラウザからも行うことができます。ウェブブラウザから設定できる項目は43ページの「設定項目一覧」を、操作できる項目は61ページの「操作項目一覧」をお読みください。操作のしかたは、67ページ以降をお読みください。
- 本書では、該当する各ページに [本体設定]、[本体操作]、[ブラウザ設定] のように小見出しを付けています。

はじめに（つづき）

使用時の制約事項

本機には、各機能において以下のような制約事項があります。内容を確認の上、使用してください。
最新のカメラ個別の制約事項は、弊社サポートウェブサイトに掲載しています。

カメラのライブ画像表示時

- カメラのライブ画像表示中にウェブブラウザから操作をすると、操作後の数秒間*は黒画表示されることがあります。
 - カメラを切り換えたとき
- インターネットモードで接続しているカメラは、カメラの切り換えに時間がかかる場合があります。
- 映像のフレームレートが低いと、カメラによってはライブ画像表示が遅延する場合があります。
- 映像のフレームレートが30 ipsに設定されたカメラのライブ画像を4K出力でモニターに表示すると、被写体によっては滑らかに表示されない場合があります。

USBメモリー

USBメモリーなどのメディアを挿入後、メディアを認識するまで時間がかかることがあります。また、メディアの容量が大きいと認識に時間がかかります。

セキュリティ機能使用時

- カメラとの接続方式が「インターネットモード」に設定されている場合は、以下の台数を超えると通信が不安定になることがあります。記載されている台数以内で使用することをお勧めします。
 - 4台（ソフトウェアバージョン：3.00以前）
 - 32台（ソフトウェアバージョン：3.10以降）
- データ暗号設定しているカメラをメインモニターやアナログモニターに4画面以上で表示すると、そのカメラのライブ画像は間引かれて表示されます。
H.264/H.265の場合は1フレームのみ表示、JPEGの場合は1 ipsに間引かれて表示されます。

ネットワークカメラWV-S8530N、WV-S8531NJ、WV-X8570N、WV-X8571NJ登録時

- 同一カメラのそれぞれのカメラ番号で以下の設定値をあわせてください。
 - カメラの認証方式
 - カメラ画像の圧縮方式
 - 音声設定
- ※WV-X8570N、WV-X8571NJのみ

- 本機とカメラ間のセキュリティ（接続方法、データ暗号設定）
- 画像の圧縮方式でMJPEGを選択することはできません。

ネットワークカメラ Uシリーズ(A無し) 登録時

- H.264に対応していません。圧縮方式でH.264を設定しないでください。
- セキュア機能に対応していません。本機とカメラ間のセキュリティの設定で、接続方法をHTTPSに設定しないでください。
- Uシリーズ(A無し)カメラは以下の品番を指します [2021年8月現在]。
WV-U1113J, WV-U1114J, WV-U1133J,
WV-U1134J, WV-U1533J, WV-U2114J,
WV-U2134J

ネットワークカメラ WV-S8543LUX、WV-S8544LUX、WV-S8573LUX、WV-S8574LUX、WV-S85402、WV-S85702、WV-U85402 登録時

- 同一カメラのそれぞれのカメラ番号で以下の設定値をあわせてください。
 - カメラの認証方式
 - カメラ画像の圧縮方式
 - 音声設定
- 本機とカメラ間のセキュリティ（接続方法、データ暗号設定）
- 画像の圧縮方式でMJPEGを選択することはできません。
- カメラの撮像モードをQuadモードまたはPanoramaモードまたはDualモードで使用する場合、品番のオプション（☞14ページ）は空欄を選択してください。

ご使用前にお読みください

動作検知機能について

カメラの動作検知（VMD：Video Motion Detection）機能は設定エリア内の輝度変化を元に画像内の動きを検知します。

以下のような場合、動作を検知しにくい、検知しない、または誤って検知する場合があります。

- 背景と動いている被写体に輝度（明るさ）の差がない。
- 夜間など、画像の輝度が低い。
- 被写体の動きが遅い。
- 被写体が小さい。
- 屋外、窓際など外光の状態が変わりやすい。
- 日光・車のヘッドライトなどの外光が入る。
- 蛍光灯がちらつく。
- 被写体に奥行きがある。

動作検知の設定を行う際は、カメラの設置状況・予想される被写体の動きにあったエリア設定、感度設定を行った後、昼間と夜間に検知状況を確認してください。また、検知しない場合や誤って検知する場合は、別途センサーを使用してください。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

マウス操作について

本機で多くの処理が同時に行われているとき、本機に接続したマウスでの操作の反応が、一時的に遅くなることがありますが、故障ではありません。

本体設定について

本機の本体設定（マウス操作によるモニター上での設定）には、[簡単設定] -らくらくスタート、[基本設定]、[詳細設定] があります。

[簡単設定] -らくらくスタートは日付設定やカメラの登録など、本機を使用するために必要な最小限の設定を行います。[簡単設定] -らくらくスタートについては、取扱説明書 設置編に記載の「必要最小限の設定を行う [らくらくスタート]」をお読みください。

[基本設定] は日時表示に関する設定やシーケンス表示など、[簡単設定] -らくらくスタートで設定する以外の基本的な設定を行います。

[詳細設定] はモニターの設定や、ユーザー管理、メンテナンスに関する設定、拡張機能の設定など詳細な設定を行います。

重要

- [簡単設定]、[基本設定] のどちらでもカメラの登録はできます。
必要最小限の設定で運用する場合は、取扱説明書 設置編に記載の「必要最小限の設定を行う [らくらくスタート]」をお読みください。

基本設定を行う [基本設定]

基本設定では、日時表示に関する設定やシーケンス表示など、基本的な設定を行います。
基本設定は、日時ページ、カメラページ、イベントページ、スケジュールページで構成されています。

基本設定の各ページを表示する

設定メニューで各ボタンをクリックします。

メモ

- 設定メニューはモニターの画面右下に表示される [設定] ボタンをクリックして表示させます。



- [日時] ボタン : 日時ページを表示します。日時の設定などを行います。
- [カメラ] ボタン : カメラページを表示します。カメラの登録やシーケンス設定を行います。
- [イベント] ボタン : イベントページを表示します。アラーム動作やイベント動作に関する設定を行います。
- [スケジュール] ボタン : スケジュールページを表示します。ライブ表示のスケジュール設定を行います。

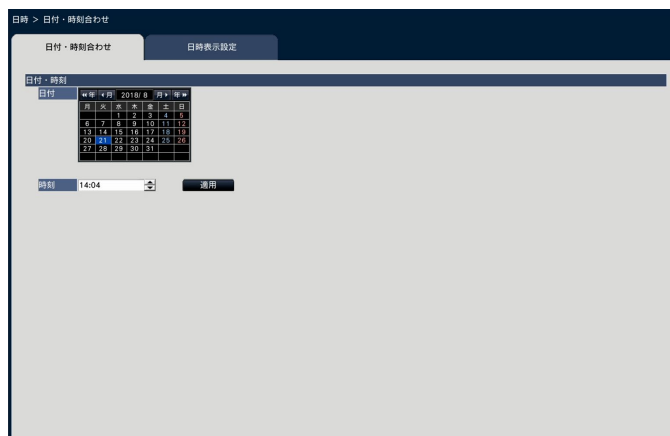
日時に関する設定を行う [日時]

日時ページは、[日付・時刻合わせ] タブ、[日時表示設定] タブで、構成されています。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

[日付・時刻合わせ] タブ

現在の日付と時刻を設定します。



■ 日付・時刻

[日付]

現在の日付を設定します。カレンダーから年月日を選択します。

[<<年] [年>>] ボタン : 年を切り換えます。

[<月] [月>] ボタン : 月を切り換えます。

[時刻]

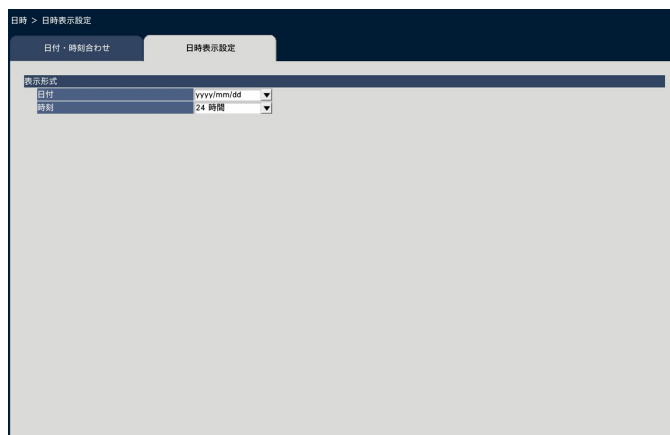
現在の時刻を設定します。

重要

- 日付、時刻を設定したら、[適用] ボタンをクリックします。→00秒に設定されます。

[日時表示設定] タブ

日時の表示形式を設定します。



■ 表示形式

日付と時刻の表示形式を設定します。

[日付]

日付の表示形式を選択します。(表示例：2014年3月1日の場合)

yyyy/mm/dd : 2014/03/01
Mmm/dd/yyyy : Mar/01/2014
dd/Mmm/yyyy : 01/Mar/2014
mm/dd/yyyy : 03/01/2014
dd/mm/yyyy : 01/03/2014

初期設定 : yyyy/mm/dd

[時刻]

時刻の表示形式を選択します。(表示例：午後3時00分00秒の場合)

24時間 : 15 : 00 : 00

12時間 : 03 : 00 : 00PM

初期設定 : 24時間

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

カメラに関する設定を行う [カメラ]

カメラページは、[カメラ登録] タブ、[シーケンス設定] タブ、[高度な設定] タブで構成されています。

[カメラ登録] タブ

カメラのネットワーク設定（アドレスやポート番号）、モニターでの表示位置の変更などを行います。初回設定時は、「らくらくスタート」で検出・設定したカメラの情報が表示されます。



[カメラ検出]

ネットワークに接続されているカメラを検出して登録します。(☞13ページ)

[登録情報の変更]

「品番」、「オプション」、「アドレス」、「圧縮方式」、「音声」、「認証方式」を変更します。

[設定>] ボタンをクリックすると、登録情報の変更画面が表示され、設定を変更できます。(☞14ページ)

また、カメラとの通信で何らかの障害が発生している場合、「障害情報」に以下のように表示されます。

接続エラー : カメラと通信していません。

認証エラー : カメラのユーザー認証に失敗しました。

カメラエラー : カメラからの応答が正しくありません。

[カメラ入れ換え]

カメラ番号を入れ換えることができます。[設定>] ボタンをクリックすると、カメラ入れ換え画面が表示され、設定を変更できます。(☞15ページ)

[ストリーム選択]

カメラから取得する画像のストリームを選択します。

[設定>] ボタンをクリックすると、ストリーム選択画面が表示され、設定を変更できます。(☞15ページ)

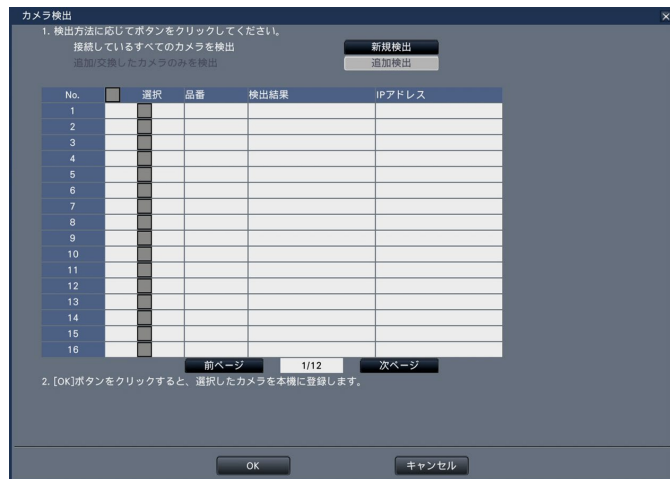
メモ

- 障害情報が表示された場合は、カメラとの接続、カメラの設定 (☞カメラの取扱説明書) を確認してください。解決しない場合は、取扱説明書 設置編の「らくらくスタート」をお読みいただき、再度カメラ登録を行ってください。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

カメラを検出して登録する [カメラ検出]

[カメラ登録] タブで「カメラ検出」の [設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。設定変更後、[OK] ボタンをクリックすると、設定が保存され [カメラ登録] タブに戻ります。



メモ

- 事前にカメラをネットワークに接続してください。カメラは最大192台まで検出することができますが、ライセンス登録したカメラ台数分しか登録することができません。

[新規検出] ボタン

現在の設定情報を破棄し、接続しているすべてのカメラを検出します。画面上にカメラ品番、検出結果、IPアドレスが表示されます。

[追加検出] ボタン

追加や交換したカメラのみを検出します。画面上にカメラ品番、検出結果、IPアドレスが表示されます。

[No.]

カメラ台数で、検出したカメラがIPアドレス順に表示されます。検出されるカメラは最大192台になります。

[選択]

チェックを入れたカメラを登録します。空き番号は詰めて登録されます。

[品番]

弊社製カメラを使用している場合、そのカメラの品番が表示されます。

[検出結果]

- 新規 : 初めて本機にカメラを接続した場合に表示されます。
- 交換 : 本機に接続していたカメラを交換した場合に表示されます。

追加 : 本機にカメラを追加して接続した場合に表示されます。

登録済み : すでに登録済みのカメラの場合に表示されます。

消失 : 登録済みのカメラが検出されなかった場合に表示されます。

空欄 : カメラが検出されていません。

[IPアドレス]

検出したカメラで設定されているIPアドレスを表示します。

メモ

- カメラ登録は、ルーターを経由した異なるネットワークのカメラでは行えません。
- 検出したカメラのDHCP設定が「On」の場合、「Off」にして登録してください。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、検出結果を反映せずに [カメラ登録] タブに戻ります。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

登録情報を変更する [登録情報の変更]

[カメラ登録] タブで「登録情報の変更」の [設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。設定変更後、[OK] ボタンをクリックすると、設定が保存され [カメラ登録] タブに戻ります。



[カメラ]

最大64台まで接続できます。ライセンス登録により、16、36、64台の構成が可能です。

[品番]

本機に登録済みのカメラの品番が表示されます。(空欄: カメラ未登録)

[▼] ボタンをクリックすると、カメラ区分から選択することができます。カメラ区分については、本機付属のCD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。通常は変更する必要はありません。

[オプション]

カメラの搭載機能の違いによって固有の機能を持つカメラに対して、カメラの動作モードを指定します。

[アドレス]

本機に登録済みのアドレスが表示されます。ソフトウェアでアドレスを変更できます。入力は半角英数字(ハイフン(-)、ピリオド(.)含む) 255文字以内に入してください。

メモ

- ホスト名を入力した場合、「http://」の記述は不要です。

[圧縮方式]

画像の圧縮方式を選択します。
H.265 / H.264 / MJPEG

メモ

- 圧縮方式を「MJPEG」に設定すると、ライブ画配信のフレームレート設定が「5 ips」に自動的に変更されます。

[音声]

カメラの音声を出力するかを選択します。

On : 出力します。

Off : 出力しません。

初期設定 : Off

メモ

- 音声はHDMIモニターのスピーカーから出力します。
- コーデックはG.711(32 kbps)、G.726(32 kbps)、AAC-LCに対応しています。音が出なかったり、ノイズなどが発生する場合は、カメラの設定をご確認ください。

[認証方式]

カメラにアクセスするときのユーザー認証で利用する認証方式を設定します。

Digest : ダイジェスト認証を使用します。

Digest or Basic : ダイジェスト認証またはベーシック認証を使用します。

Basic : ベーシック認証を使用します。

初期設定 : Digest

[ユーザー名]

カメラにアクセスし、ログインするためのユーザー名をソフトウェア (取扱説明書 設置編 11ページ) から入力します (半角英数字32文字以内)。アクセスレベルが「管理者」のユーザー名を登録してください。

[パスワード]

登録した「ユーザー名」のパスワードをソフトウェア (取扱説明書 設置編 11ページ) から入力します (半角英数字32文字以内)。

[ポート番号]

カメラが使用するポート番号を1 ~ 65535の範囲で設定します。

初期設定 : 80

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

メモ

- ポート番号は右詰めで入力してください。(例：ポート番号が80の場合、00080と設定。)ここでは、設定値の左の「0」は表記していません。

[自動品番取得]

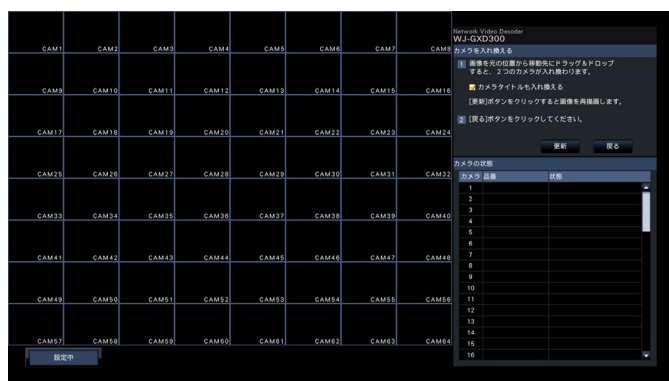
[実行] ボタンをクリックすると、本機に登録しているカメラから品番を取得し、品番情報を更新します。

[削除番号選択]

登録情報の削除や接続していたカメラを外すときは、カメラ番号を選択し、[削除] ボタンをクリックするか、該当するカメラのIPアドレスを消してください。

カメラ番号を入れ換える [カメラ入れ換え]

[カメラ登録] タブで「カメラ入れ換え」の [設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



画面上には、登録したカメラが、左上から右に1、2、…16の順で表示されます。

入れ換えたいカメラ画像をマウスでドラッグし、移動したい位置でドロップすると、カメラ番号が入れ換わります。カメラタイトルも入れ換える場合は、「カメラタイトルも入れ換える」にチェックを入れてください。

メモ

- データ暗号設定 (☞ 42ページ) がOnのカメラはカメラ画像が表示されず、状態欄に「デコードエラー」と表示されます。

[更新] ボタン

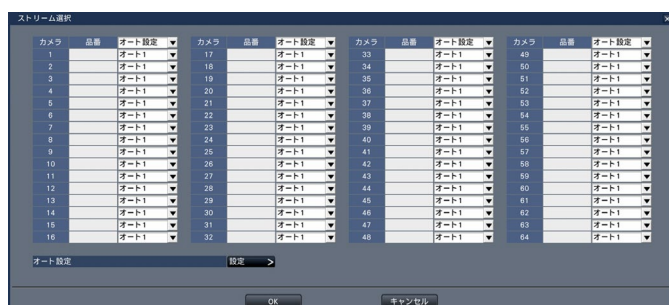
入れ換え後のカメラの最新画像を取得します。

[戻る] ボタン

設定を保存して [カメラ登録] タブに戻ります。

カメラのストリームを選択する [ストリーム選択]

[カメラ登録] タブで「ストリーム選択」の [設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。設定変更後、[OK] ボタンをクリックすると、設定が保存され [カメラ登録] タブに戻ります。



基本設定を行う [基本設定] (つづき)

[カメラ]

カメラ毎に設定します。カメラ拡張キットのライセンス登録により、16、36、64台の構成が可能です。

[品番]

接続しているカメラの品番が表示されます。
(空欄：カメラ未登録)

[オート設定]

オート1～オート4を選択します。オート1～オート4のストリーム設定は[オート設定]で行います。

オート設定 [設定>] ボタン

オート1～オート4に画面分割数とHDMI出力の種類に応じた、カメラのストリームを設定します。

ストリーム種別を設定する [オート設定]

[ストリーム選択] 画面で「オート設定」の [設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。設定変更後、[OK] ボタンをクリックすると、設定が保存され [ストリーム選択] 画面に戻ります。



オート1～オート4に選択できるストリーム種別とその初期値は、以下のように画面分割とHDMI出力（1080p、4K）によって異なります。

HDMI出力：1080p

画面分割：1画、2画(縦長)、3画(縦長)、4画(縦長)

オート1～4：ストリーム1 / ストリーム2 / ストリーム3 / ストリーム4

初期値：オート1～4：ストリーム1

画面分割：3画(左大)、3画(右大)、4画、6画、5画(縦長)、6画(縦長)、7画(縦長)

オート1～4：ストリーム1 / ストリーム2 / ストリーム3 / ストリーム4

初期値：オート1およびオート4：ストリーム2 オート2およびオート3：ストリーム3

画面分割：9画、16画、25画、36画、64画

オート1～4：ストリーム2 / ストリーム3 / ストリーム4

初期値：オート1およびオート2：ストリーム2 オート3およびオート4：ストリーム3

HDMI出力：4K

画面分割：1画、2画、3画(縦長)、4画(縦長)

オート1～4：ストリーム1 / ストリーム2 / ストリーム3 / ストリーム4

初期値：オート1～4：ストリーム1

画面分割：3画(左大)、3画(右大)、4画、6画、9画、5画(縦長)、6画(縦長)、7画(縦長)

オート1～4：ストリーム1 / ストリーム2 / ストリーム3 / ストリーム4

初期値：オート1～4：ストリーム1

画面分割：16画、25画、36画、64画

オート1～4：ストリーム2 / ストリーム3 / ストリーム4

初期値：オート1およびオート2：ストリーム2 オート3およびオート4：ストリーム3

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

メモ

- ストリームの設定については、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。
- 「ストリーム1」は1画面用、「ストリーム2」、「ストリーム3」、「ストリーム4」は多画面用の配信設定を行うとネットワークの使用帯域を軽減することができます。
- お使いのカメラが「ストリーム3」、「ストリーム4」配信に対応していない場合は「ストリーム2」を使用します。「ストリーム4」配信に対応していない場合は「ストリーム3」を使用します。

[シーケンス設定] タブ

表示する画面数とよく使用するカメラを組み合わせ、1つのグループとして登録できます。また、グループを組み合わせ、1つのシーケンスに登録することができます。



■ グループ



[カメラ選択] ボタン

カメラ選択画面が表示されます。

[グループリスト]

- ▼を押すとグループ1～グループ400がリスト表示されます。設定したいグループを選択します。

[画面分割]

グループ表示する画面分割 (カメラ台数) を選択します。リストの画面分割アイコンをクリックするとプレビュー画面が更新します。左右のボタンで表示する画面分割アイコンの表示を切り換えることができます。

- 1画、3画 (左大画面)、3画 (右大画面)、4画、6画、9画、16画、25画、36画、64画
- 2画 (縦長)、3画 (縦長)、4画 (縦長)、5画 (縦長)、6画 (縦長)、7画 (縦長)

基本設定を行う [基本設定] (つづき)



グループ表示したいカメラをチェックして [更新] します。[前ページ]、[次ページ] で選択するカメラを切り換えます。画面分割数を越えるカメラをチェックできません。1つのグループに同一カメラを重複して設定できません。

[プレビュー]

カメラ選択でチェックしたカメラ画像が表示されます。カメラ表示位置をドラッグ&ドロップで調整します。

メモ

- データ暗号設定 (☞ 42ページ) がOnのカメラはカメラ画像が表示されません。

[グループ設定のコピー]

コピー元で指定したグループの設定を現在表示中のグループへコピーします。

[魚眼画像補正表示ボタン]



魚眼表示ボタン

魚眼画像の表示に戻します。

1画PTZ表示ボタン

魚眼表示を1画PTZに補正して表示します。

4画PTZ表示ボタン

魚眼表示を4画PTZに補正して表示します。

メモ

- グループ設定にて1画レイアウト、かつ、魚眼画像のカメラを選択する場合のみ魚眼画像の補正表示を使用できます。1画レイアウト以外を選択したとき、魚眼画像以外のカメラを指定したときは魚眼画像補正表示ボタンはグレースアウト表示されます。
- 魚眼補正については、「魚眼画像を補正する」を参照してください。(☞ 19ページ)

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

魚眼画像を補正する

グループ設定では魚眼画像を補正して表示するよう設定ができます。そのグループの表示は設定した魚眼画像の補正パターンと表示位置でカメラ画像を表示します。

STEP1

グループ設定にて1画レイアウトで、魚眼画像のカメラを選択します。

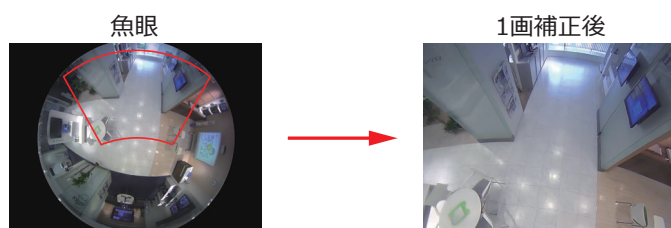
→魚眼画像補正表示ボタンがアクティブ化します。

STEP2

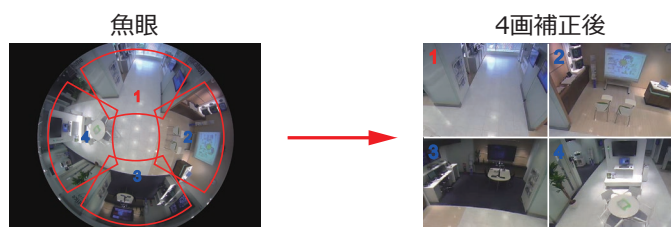
1画PTZ表示 / 4画PTZ表示ボタンをクリックします。

→1画PTZ / 4画PTZで補正表示されます。それぞれ以下の画角の画像を動画で表示します。

■ 1画PTZ表示



■ 4画PTZ表示



魚眼画像補正表示ボタン



メモ

- 魚眼画像上でマウスの右ボタンをダブルクリックすると、カーソル位置を中心とした1画PTZで補正表示することもできます。
- 1画PTZで補正表示中に画像上をクリックすると、その位置が表示の中心となります。4画PTZで補正表示中は表示位置を変更したい画像をクリックして選択してから、画像上をクリックしてください。
- クリックする位置によっては、表示する画像の中心とならない場合があります。
- 4画PTZで補正表示中に選択している画像上をダブルクリックして1画PTZの補正表示に切り換えることもできます（逆も可能です）。
- 高解像度、高フレームレートの画像は、元のフレームレートで補正表示できない場合があります。
- 4画補正を行った複数のグループをシーケンスする場合、補正表示への切り換わりが遅れる場合があります。

STEP3

魚眼表示ボタンをクリックすると、補正機能を解除します。

メモ

- 魚眼画像の補正表示位置は、本機の電源を切っても記憶されます。
- 4画PTZで補正表示から補正機能を解除すると、分割線が画像上に一瞬残って表示されます。

魚眼画像補正設定したグループをコピーして、補正表示位置を変えたグループを複数作成し、シーケンス設定をするとプリセットシーケンスと同様なモニター表示ができます。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

■グループシーケンス

グループシーケンスを設定するには、[設定>] ボタンをクリックしてください。



[シーケンスリスト]

▼を押すとシーケンス1～シーケンス22がリスト表示されます。設定したいシーケンスを選択します。

[グループ追加] ボタン

グループ追加画面が表示されます。



シーケンス表示したいグループにチェックを入れて [追加] ボタンをクリックすると、ステップリストの末尾にチェックを入れたグループが追加されます。

最大64ステップのグループを追加設定できます。

1つのシーケンスに同一グループを重複して追加設定することもできます。

[ステップリスト]

グループ追加でチェックしたグループ番号がリスト表示されます。

グループ番号をクリックして選択すると、そのグループに配置されたカメラ画像が表示されます。

上からシーケンス表示する順番に並んでいます。

順序を変えたい場合はグループ番号を選んで [上へ] ボタン、[下へ] ボタンを押して調整します。

ステップリストから不要なグループを取り除きたいときは、グループ番号を選択し [削除] ボタンを押します。

[シーケンス設定のコピー]

コピー元で指定したシーケンスの設定を現在表示中のシーケンスへコピーします。

全てのステップリストが上書きされます。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

[高度な設定] タブ

カメラの接続方式を設定します。

[高度な設定] タブで「接続方式」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



■ 接続方式



[接続方式]

カメラごとに接続方式を設定します。

RTP : RTPで接続します。

RTSP : RTSPで接続します。ローカルのカメラ接続等に使用します。

インターネットモード

: インターネットモードで接続します。遠隔のカメラと接続する場合等に使用します。

メモ

- アイプロシリーズカメラで、圧縮種別がH.264/H.265の場合に設定が有効になります。

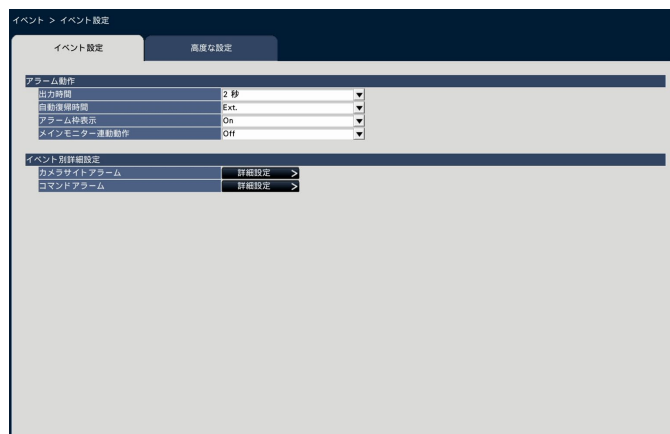
基本設定を行う [基本設定] (つづき)

イベントに関する設定を行う [イベント]

イベントページは、[イベント設定] タブ、[高度な設定] タブで構成されています。

イベントの設定を行う [イベント設定] タブ

アラーム出力時間など、イベントに関する設定を行います。



■ アラーム動作

アラーム出力時間や自動復帰時間などを設定します。

[出力時間]

アラーム発生時に本機の後面端子から出力するアラーム信号の出力時間を選択します。「0秒」に設定するとアラーム信号を出力しません。

0秒 / 2秒 / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分

Ext. : アラーム動作を解除するまでアラーム出力し続けます。アラーム動作の解除方法については、「アラーム動作を解除する」(☞60ページ)をお読みください。

初期設定 : 2秒

[自動復帰時間]

アラーム動作を自動的に復帰させる時間を選択します。

2秒 / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分 / 3分 / 5分

Ext. : アラーム動作を自動的に復帰させません。アラーム動作の解除方法については、「アラーム動作を解除する」(☞60ページ)をお読みください。

初期設定 : Ext.

メモ

- 「出力時間」が「自動復帰時間」より長く設定されている場合は、「自動復帰時間」の設定に従います。

[アラーム枠表示]

アラーム発生カメラの画像を赤色のアラーム枠で表示するかを選択します。

On : アラーム枠を表示します。

Off : アラーム枠を表示しません。

初期設定 : On

[メインモニター連動動作]

モニター表示中の場合、アラーム発生に連動して1画面表示に切り換えるかを選択します。

On : 連動動作します。

On (アラーム確認/復帰) : 連動動作します。

Off : 連動動作しません。

初期設定 : Off

メモ

- 「On (アラーム確認/復帰)」に設定すると、連動動作中に別のアラームが発生しても画面は切り換わず、同じカメラ画像が表示され続けます。アラーム/コントロール端子のアラーム復帰入力で別のカメラに切り換わります。連動動作中に複数のアラームが発生すると発生した順番にカメラ番号が記憶されます。
- 「設定メニュー表示中」は連動動作しません。
- 自動復帰時間が経過すると、スケジュール、または、スタートモニターに従った表示に戻ります。

■ イベント別詳細設定

各アラーム (カメラサイトアラーム、コマンドアラーム) の詳細設定を行います。各項目の [詳細設定>] ボタンをクリックすると、詳細設定ページが表示されます。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

カメラサイトアラームの設定を行う [カメラサイトアラーム詳細設定]

カメラの独自アラーム信号を受信して動作するカメラサイトアラーム入力時の動作を設定します。



■ カメラサイトアラーム詳細設定

[動作モード]

アラーム信号が入力されたときの動作を選択します。
アラーム動作：すべてのイベント動作を設定に従って行います。

Off：イベントログへの記録のみ行います。
初期設定：アラーム動作

[アラーム履歴]

アラーム履歴を保存するかどうかを選択します。

保存する：履歴を保存します。
保存しない：履歴を保存しません
初期設定：保存する

[戻る] ボタン

設定を終了したらクリックします。[イベント設定] タブに戻ります。

コマンドアラームの設定を行う [コマンドアラーム詳細設定]

ネットワークを経由して、PCなどからコマンドを受信して動作するコマンドアラーム入力時の動作について設定します。



「コマンドアラーム詳細設定」の「動作モード」「アラーム履歴」については、「カメラサイトアラームの設定を行う [カメラサイトアラーム詳細設定]」(☞23ページ)をお読みください。

[戻る] ボタン

設定を終了したらクリックします。[イベント設定] タブに戻ります。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

イベントの高度な設定を行う [高度な設定] タブ

ここでは、アラームに関する特殊な設定を行います。アラームマスク時間、サイトアラーム受信ポート番号を設定します。



[アラームマスク時間]

同じカメラで同じ種類のイベント（カメラサイトアラーム、コマンドアラーム）が連続して発生しても、イベント動作を行わないようにする期間を設定します。

2秒 / 3秒 / 5秒 / 10秒

初期設定：2秒

[サイトアラーム受信ポート番号]

カメラのサイトアラームを受信するポート番号を選択します。

初期設定：1818

メモ

- ポート番号は右詰めで入力してください。（例：ポート番号が80の場合、00080と設定）。ここでは、設定値の左の「0」は表記していません。
- 以下の番号とHTTPポート番号、HTTPSポート番号を設定することはできません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、79、80、105、110、123、161、162、443、546、547、995、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007、50000～50255

[機能拡張ソフトウェアアラーム]

機能拡張ソフトウェアアラームの名称とメッセージIDを設定します。



機能拡張ソフトウェアアラーム1～4を使用するには、対象のカメラに機能拡張ソフトウェアWV-XAE200Wがインストールされていて、設定が済んでいる必要があります。

[名称]

機能拡張ソフトウェアアラーム1～8の名称をソフトウェアキーボードから入力します（16文字まで）。

メモ

- アラーム履歴やイベント情報表示は、設定した名称で表示されます。
- PCのウェブブラウザからは、漢字の入力が可能ですが、搭載しているフォントにない文字は表示できません。
- 空欄で設定を保存すると、初期設定の名称に戻ります。

[メッセージID]

機能拡張ソフトウェアアラーム1～8として受信するアラームのメッセージIDを10進数（000～255）で選択します。

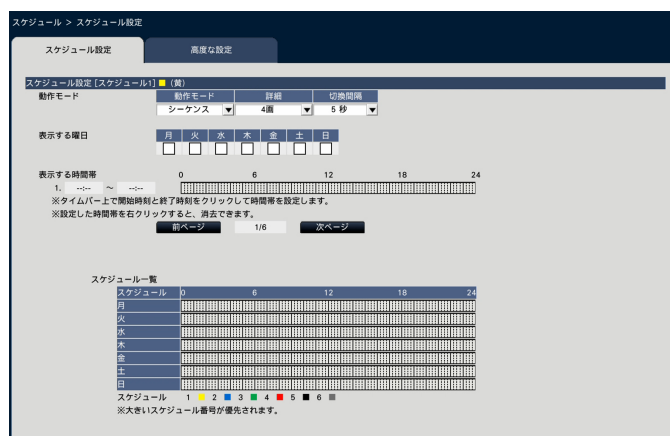
基本設定を行う [基本設定] (つづき)

スケジュールに関する設定を行う [スケジュール]

スケジュールページは、[スケジュール設定] タブ、[高度な設定] タブで構成されています。

モニター表示切り換えのスケジュール設定を行う [スケジュール設定] タブ

スケジュールによるライブ映像表示切り換えを設定します。表示する曜日や時間帯、グループ、シーケンスを指定します。



■ スケジュール設定

事前に設定したスケジュールに従いモニター表示を行います。曜日と時間帯を設定します。「スケジュール1」から「スケジュール6」の6つの時間帯を設定できます。

【動作モード】

モニター表示の切り換えモードを選択します。

- 固定表示 : 1つのグループを継続して表示します。
- シーケンス : 1つの分割画面上に、登録したカメラを番号順に切り換えて表示するか、あらかじめ登録したグループシーケンスを表示します。

初期設定 : シーケンス

【詳細】

固定表示するグループ、またはシーケンス表示する分割画面、グループシーケンス番号を設定します。

- 固定表示 : グループ1、グループ2、・・・、グループ400
- シーケンス : 1画、4画、6画、9画、16画、25画、シーケンス1、シーケンス2、・・・、シーケンス22

初期設定 : 4画

【切換間隔】

シーケンス表示する場合は、カメラ画像を切り換える時間を設定します。

- 3秒 / 5秒 / 10秒 / 15秒 / 20秒 / 30秒 / 45秒 / 1分

初期設定 : 5秒

【表示する曜日】

表示したい曜日を選択します。表示する曜日にはチェックを入れます。

【表示する時間帯】

タイムバーは1目盛り15分で、24時間を表しています。開始時刻と終了時刻を設定するには、タイムバー上の任意の時刻をクリックしてください。設定された時間帯は、タイムバーの色が変わります。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

メモ

- 設定済みの時間帯を取り消すには、その時間帯を右クリックします。
- 表示時間帯は、タイムバー上で開始時刻から終了時刻までをマウスでドラッグして設定することもできます。
- 6つの時間帯の間で、時間が重なる設定をすると、スケジュール番号の大きいスケジュール設定を優先します。
- スケジュール設定した表示動作の時間帯（タイムテーブル）が終了しても、スケジュール設定がされていない時間帯はスタートモニター設定に従って、表示します。
- シーケンス中は音声が出力されません。

[前ページ] / [次ページ]

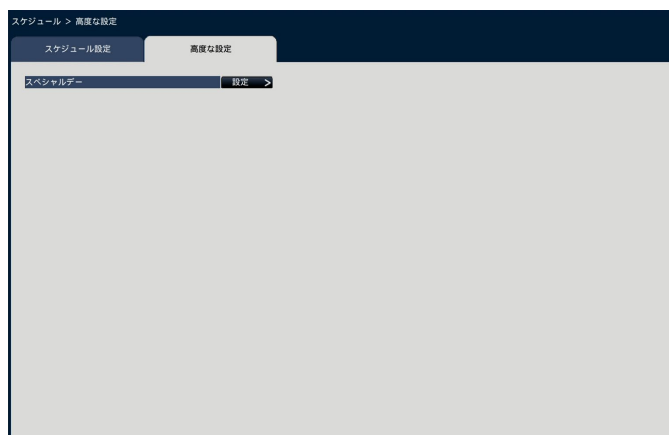
設定するスケジュール設定を切り換えます。

[スケジュール一覧]

「スケジュール1」から「スケジュール6」の6つの時間帯で設定した1週間分のスケジュールを一覧で確認できます。

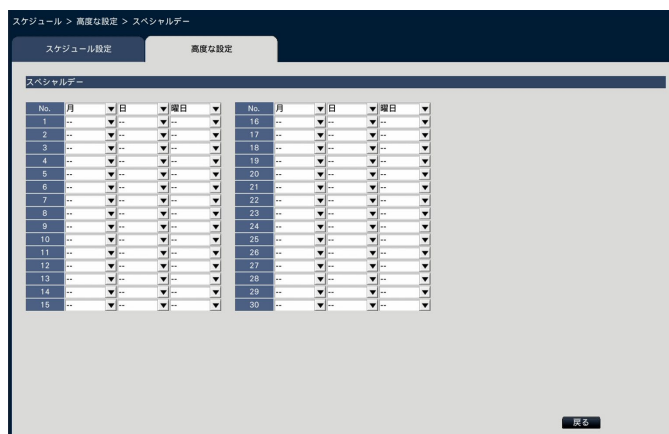
スケジュールの高度な設定を行う [高度な設定] タブ

ここでは、スペシャルデーの設定をします。



[スペシャルデー]

特定日として個別に別の曜日のスケジュールを割り当てます。たとえば、「1月1日」を「日曜日」に設定すると、1月1日が何曜日であっても日曜日として表示を行います。[設定>] ボタンをクリックすると、以下のスペシャルデーの画面が表示されます。



[月] [日]

特定日として設定したい日付を選択します。

[曜日]

動作させたいスケジュールの曜日を選択します。
初期設定：なし

モニターの設定を行う [モニター]

設定メニュー [詳細設定] のモニターページでは、本機に接続しているモニターの表示に関する設定を行います。カメラタイトルやスタートモニターに関する設定もこのモニターページで行います。モニターページは、[メインモニター] タブで構成されています。

メインモニターの設定を行う [メインモニター]

カメラタイトルの表示位置など、モニターの表示に関する設定を行います。



■カメラタイトル

[表示]

カメラタイトルをモニターに表示するかどうかを設定します。

- On : カメラタイトルを表示します。
- Off : カメラタイトルを表示しません。

初期設定 : On

[位置]

画像上のカメラタイトルの表示位置を選択します。

左上 / 左下 / 右上 / 右下

初期設定 : 右上

[文字サイズ]

画像上のカメラタイトルの大きさを選択します。

標準 / 大 / 特大

初期設定 : 標準

[カメラタイトル]

カメラごとに表示するカメラタイトルをソフトキーボードから (取扱説明書 設置編 11ページ) 入力します (32文字まで)。

メモ

- カメラに設定されている日時表示や画像内文字表示と同時に使用する場合は、表示が重ならないように位置の設定をしてください。
- PCのウェブブラウザからは、カメラタイトルに漢字の入力が可能ですが、搭載しているフォントにない文字は表示できません。
- カメラタイトルの文字サイズや文字数によっては、文字が潰れて表示されることがあります。
- 文字サイズ設定「特大」で64画表示する場合は、画面内の文字数が多いと、文字がすべて表示されない場合があります。1カメラあたりのカメラタイトルが、平均して全角16文字 (半角32文字) 以内になるよう設定してください。

■スタートモニター

[動作モード]

モニター表示の切り換えモードを選択します。

- 固定表示 : 1つのカメラグループを継続して表示します。
- シーケンス : 1つの分割画面上に、登録したカメラを番号順に切り換えて表示するか、あらかじめ登録したグループシーケンスを表示します。
- 出力なし : 黒画を表示します。

初期設定 : シーケンス

モニターの設定を行う [モニター] (つづき)

[詳細]

固定表示するグループ、またはシーケンス表示する分割画面、グループシーケンス番号を設定します。

固定表示 : グループ1、グループ2、・・・、グループ400

シーケンス : 1画、4画、6画、9画、16画、25画、シーケンス1、シーケンス2、・・・、シーケンス22

初期設定 : 4画

メモ

- 4画シーケンス、6画シーケンス、9画シーケンス、16画シーケンスまたは25画シーケンス表示時は、登録したカメラを先頭から詰めて表示します。
- 1画、4画、6画、9画、16画、25画シーケンス表示時は登録カメラの台数が分割画面数以内の場合は、カメラを切り換えずにそのまま表示し続けます。
- シーケンス中は音声が出力されません。

[切換間隔]

シーケンス表示する場合は、カメラ画像を切り換える間隔を設定します。

3秒 / 5秒 / 10秒 / 15秒 / 20秒 / 30秒 / 45秒 / 1分

初期設定 : 5秒

メモ

- カメラによって画像が表示されるまで時間がかかることがあり、切換間隔が短いと画像が表示される前に切り換わります。そのような場合は、切換間隔を長くしてください。

[HDMI出力を以下の信号形式に固定する]

チェックを入れるとHDMI出力の信号形式を固定します。信号形式は4Kおよび1080pを選択できます。

メモ

- 4K出力はp/30Hz (4K/30p) です。お使いのモニターによってはエラー表示されることがありますが、問題なくご使用いただけます。
- モニター表示が黒画となり、設定変更を戻せなくなりますので、4Kモニターを接続していない場合は、「4K」を選択しないでください。

[アスペクト比を維持して表示する]

映像の表示エリアに対して表示される映像のアスペクト比が異なる場合、表示エリアに対して縦横の比率を自動的に変更するかどうかを選択します。

チェックあり : アスペクト比を維持する (自動的に比率を変更しない)

チェックなし : アスペクト比を維持しない (自動的に比率を変更する)

ネットワーク接続に関する設定を行う [ネットワーク]

設定メニュー [詳細設定] のネットワークページでは、本機のネットワークに関する設定を行います。ネットワークページは [基本] タブ、[NTP/SNMP] タブで構成されています。

ネットワークの基本設定を行う [基本]

ネットワーク接続に関する基本的な設定を行います。



メモ

- アドレスの各オクテットやポート番号は、右詰めで入力してください。(例：ポート番号が80の場合、00080と設定)。ここでは、設定値の左の「0」は表記していません。

■ ネットワーク設定

本機のネットワーク設定を行います。

[IPアドレス]

本機のIPアドレスが表示されます。

[▲] ボタン / [▼] ボタンをクリックすると、アドレスを変更できます。

初期設定：192.168.0.240

[サブネットマスク]

本機を接続するネットワークの規則に従ってサブネットマスクを選択します。入力方法はIPアドレスと同じです。

初期設定：255.255.255.0

[デフォルトゲートウェイ]

本機を接続するネットワークの規則に従ってデフォルトゲートウェイのアドレスを選択します。入力方法はIPアドレスと同じです。

初期設定：192.168.0.1

[通信速度]

データの通信速度を選択します。

- Auto : 自動設定します。
- 100M-Full : 100 Mbps全二重
- 100M-Half : 100 Mbps半二重
- 10M-Full : 10 Mbps全二重
- 10M-Half : 10 Mbps半二重

初期設定：Auto

重要

- 通信速度を変更して設定を終了すると、本機は再起動します。

■ DNS設定

DNS (Domain Name System) に関する設定を行います。

[DNS]

DNSを使用するかどうかを設定します。

- Off : DNSを使用しません。
- Manual : DNSを使用し、ホスト名から対応するIPアドレスを検索できるようにします。

初期設定：Off

ネットワーク接続に関する設定を行う [ネットワーク] (つづき)

[プライマリーサーバーアドレス]

[セカンダリーサーバーアドレス]

DNSを使用する場合、プライマリー DNSサーバーとセカンダリー DNSサーバーのIPアドレスを選択します。

入力方法はIPアドレスと同じです。

初期設定：0.0.0.0

[ドメイン名]

本機のドメイン名を入力します。ドメイン名の先頭文字は英字にしてください。

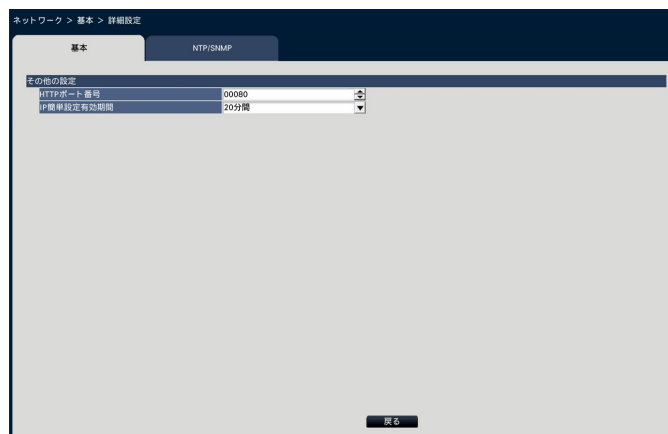
入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)を含む）3文字以上63文字以内にしてください。

初期設定：localdomain

■ その他の設定

HTTPポート番号を設定するには、[詳細設定>] ボタンをクリックしてください。

詳細設定画面が表示されます。



■ その他の設定

[HTTPポート番号]

本機が画像を配信するときに使用するHTTPポート番号を設定します。

通常は変更する必要はありません。

1 ~ 65535

初期設定：80

メモ

- ネットワーク設定によっては、HTTPポート番号を変更した際、通信ができなくなる設定になっている場合があります。この場合、各ネットワークの管理者にお問い合わせください。
- 以下の番号とHTTPSポート番号、サイトアラーム受信ポート番号を設定することはできません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、79、105、110、123、161、162、443、546、547、995、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007、50000 ~ 50255

■ IP簡単設定有効期間

専用ソフトウェアからネットワーク設定の操作を有効にする時間を、本機が起動してから20分間/無制限のどちらかに設定します。

20分間

：専用ソフトウェアで本機のIPアドレスを変更する操作を、本機起動後20分間のみ有効にします。

無制限

：専用ソフトウェアで本機のIPアドレスを変更する操作を常時有効にします。

初期設定：20分間

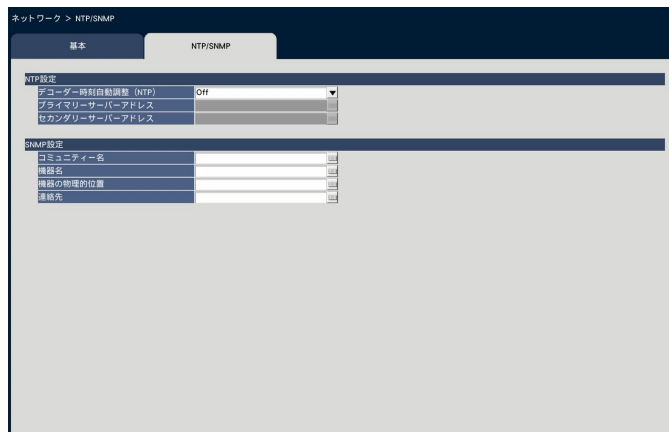
[戻る] ボタン

設定を終了したら、クリックしてください。

ネットワーク接続に関する設定を行う [ネットワーク] (つづき)

ネットワーク時刻合わせやSNMPに関する設定を行う [NTP/SNMP]

NTP (Network Time Protocol) サーバーとSNMP設定を行います。



■ NTP設定

【デコーダー時刻自動調整 (NTP)】

NTPサーバーに時刻合わせするかどうかを設定します。

On : 自動時刻合わせをします。

Off : 自動時刻合わせをしません。

初期設定 : Off

重要

- システム運用においてより正確な時刻設定が必要な場合は、NTPサーバーを使ったNTP自動時刻合わせを使用してください。

【プライマリーサーバーアドレス】

【セカンダリーサーバーアドレス】

NTPサーバーを使って時刻合わせを行う場合、NTPサーバーのアドレスまたはNTPサーバー名を入力します。

NTPサーバー名は、設定メニュー [詳細設定] - [ネットワーク] - [基本] タブの「DNS」を「Manual」にしたときのみ使用できます。

入力は半角英数字 (ハイフン(-)、ピリオド(.)含む) 255文字以内に入してください。

メモ

- サーバー名を入力した場合、「http://」の記述は不要です。

■ SNMP設定

SNMPマネージャーと接続して、本機の状態を確認する場合などに設定します。

メモ

- 入力できる文字について

```

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u
v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! # $ % & ' ( ) *
+ , - . / : ; < = > ? @ [ ¥ ] ^ _ ` { | } ~
    
```

【コミュニティ名】

SNMP認証に使用する名前を入力します (32文字以内)。

【機器名】

本機をSNMPシステムで管理するための名前を入力します (255文字以内)。

例 : No1

【機器の物理的位置】

本機の設置場所を入力します (255文字以内)。

例 : 2F

【連絡先】

本機管理者の連絡先 (メールアドレスなど) を入力します (255文字以内)。

ユーザー管理に関する設定を行う [ユーザー管理]

設定メニュー [詳細設定] のユーザー管理ページでは、本機を操作する際のユーザー認証の有無や管理者情報の登録、操作レベルの設定などを行います。

ユーザー管理ページは [基本] タブ、[ユーザー登録] タブ、[管理者設定] タブ、[ホスト登録] タブで構成されています。

ユーザー管理の基本設定を行う [基本]

本機をマウス操作する際のログイン設定や、ネットワーク操作のユーザー認証を行います。



[ユーザー認証]

ユーザー認証を行うかどうかを設定します。

On : ユーザー認証操作後にログインします。

Off : ユーザー認証なしでログインします。

初期設定 : On

[ホスト認証]

ホスト認証を行うかどうかを設定します。

On : ホスト認証後にログインします。

Off : ホスト認証なしでログインします。

初期設定 : Off

ユーザー管理に関する設定を行う [ユーザー管理] (つづき)

ユーザー情報を登録／変更／削除する [ユーザー登録]

ユーザー名やパスワードの新規登録／変更／削除を行います。



■ 新規ユーザー情報の登録

ユーザー名やパスワード、操作レベルなど、本機を使用するユーザー情報を登録します。

登録できるユーザー数は32ユーザーまでです。

[ユーザー名]

ソフトキーボード (取扱説明書 設置編 11ページ) からユーザー名を入力します。ユーザー名は半角英数字と記号 (「"」「&」「:」「;」「¥」を除く) で1文字以上32文字以内で設定してください。

[パスワード]

ソフトキーボード (取扱説明書 設置編 11ページ) からパスワードを入力します。パスワードは半角英数字と記号 (「"」「&」を除く) で8文字以上32文字以内で設定してください。また、英字 (大文字)、英字 (小文字)、数字、記号のうち3種類以上を使用し、ユーザー名がパスワードに含まれないようにしてください。登録したパスワードは、内容にかかわらず「*****」と表示されます。

重要

- パスワードはセキュリティを確保するために、定期的に変更してください。
- 他のレコーダーや機器のパスワードを使い回さないでください。
- 管理者名、パスワードを忘れた場合は本体の初期化 (修理扱い) が必要です。

[レベル]

操作レベルを選択します。

マネージャー／オペレーター

※管理者とマネージャーは同じレベルですが、優先度は管理者の方が高くなります。

初期設定：オペレーター

■ 登録済みユーザー情報の変更／削除

すでに登録したユーザー情報を変更または削除します。[ユーザー名] で変更または削除するユーザーを選択してください。変更する項目については、新規登録の場合と同じです。

[変更] ボタン

選択したユーザーの情報を変更します。

[削除] ボタン

選択したユーザーを削除します。

ユーザー管理に関する設定を行う [ユーザー管理] (つづき)

管理者情報を変更する [管理者設定]

管理者情報を変更します。



[管理者名]

管理者名をソフトキーボード（☞取扱説明書 設置編 11ページ）から入力します。管理者名は半角英数字と記号（「"」「&」「:」「;」「¥」を除く）で1文字以上32文字以内で設定してください。

[パスワード]

管理者用のパスワードをソフトキーボード（☞取扱説明書 設置編 11ページ）から設定します。パスワードは半角英数字と記号（「"」「&」を除く）で8文字以上32文字以内で設定してください。英字（大文字）、英字（小文字）、数字、記号のうち3種類以上を使用し、ユーザー名がパスワードに含まれないようにしてください。登録したパスワードは、内容にかかわらず「*****」と表示されます。

重要

- パスワードはセキュリティを確保するために、定期的に変更してください。
- 他のレコーダーや機器のパスワードを使い回さないでください。

[パスワード (再入力)]

確認のため、「パスワード」で入力したパスワードを再度入力します。

[変更] ボタン

変更した管理者情報を登録します。

ユーザー管理に関する設定を行う [ユーザー管理] (つづき)

ホスト情報を登録／変更／削除する [ホスト登録]

ネットワークを経由して本機にアクセスできるPC (ホスト) のホスト情報の新規登録／変更／削除を行います。



■ 新規ホスト情報の登録

ホストIPアドレスや操作レベルなど、本機を使用するホスト情報を登録します。
登録できるホスト数は32個までです。

[ホストIPアドレス]

IPアドレスを入力します。

- ・半角数字0 ~ 255 で入力します。
- ・「*」はすべての数字を表す特殊文字として使用できます。
- ・「0.0.0.0」「*.*.*.*」は登録できません。

[レベル]

操作レベルを選択します。

(設定内容について「ユーザー登録」のページをお読みください)

初期設定：マネージャー

[登録] ボタン

設定されたホスト情報を新規登録します。

■ 登録済みホスト情報の変更/削除

すでに登録したホスト情報を変更または削除します。
[ホストIPアドレス] で変更または削除するホストを選択してください。変更する項目については、新規登録の場合と同じです。

[変更] ボタン

選択したユーザーの情報を変更します。

[削除] ボタン

選択したユーザーを削除します。

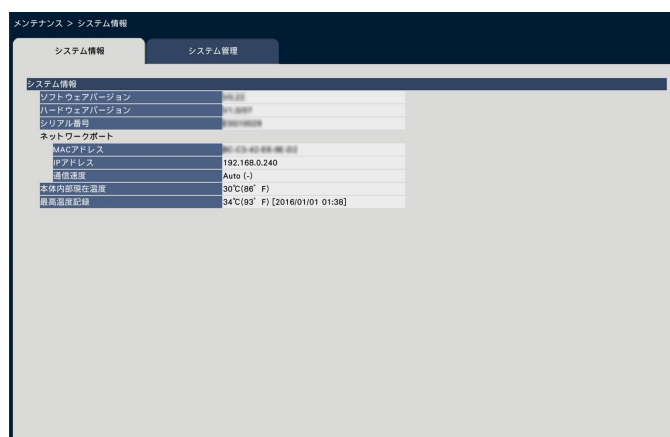
メンテナンスに関する設定を行う [メンテナンス]

設定メニュー [詳細設定] のメンテナンスページでは、本機のバージョン情報やシステム情報の表示を行います。また、設定メニューでの設定内容の初期化、各種ログの確認、ライセンスの登録などもこのメンテナンスページで行います。

メンテナンスページは [システム情報] タブ、[システム管理] タブで構成されています。

バージョンなどシステム情報を確認する [システム情報]

本機のバージョン情報（ソフトウェア、ハードウェア）、シリアル番号、ネットワーク情報（MACアドレス、IPアドレス、通信速度）、本体内部の温度情報、最高温度記録などが表示されます。



The screenshot shows the 'Maintenance > System Information' page. It has two tabs: 'System Information' (selected) and 'System Management'. The 'System Information' tab displays the following data:

システム情報	
ソフトウェアバージョン	000.000
ハードウェアバージョン	000.0000
シリアル番号	0000000000
ネットワークポート	
基本アドレス	00:00:00:00:00:00
IPアドレス	192.168.0.240
通信速度	Auto (-)
本体内部現在温度	30°C (86° F)
最高温度記録	34°C (93° F) [2018/01/01 01:38]

メモ

- メンテナンスページ表示中は、システム情報は更新されません。
- 通信速度欄の () 内には実際の通信速度が表示されます。
- 本体内部現在温度は、内部部品の温度上昇により、本製品の周囲温度より高い温度となります。
- 内部部品の温度上昇は機器の負荷により異なります。
- 温度異常は機器の故障や不安全を防ぐために内部の部品（CPUなど）が規定外の温度になった場合にエラー動作を行います。

メンテナンスに関する設定を行う [メンテナンス] (つづき)

システムに関する設定や操作を行う [システム管理]

障害発生時の動作設定やログの表示などを行います。また、ライセンスの登録、設定の初期化、ソフトウェアのバージョンアップなど、全般的なメンテナンス作業をここでを行います。



■ システム設定

[障害表示]

本機に障害（カメラ異常、機器異常、ネットワーク異常）が発生したときにモニターの状態表示パネルを表示するかを設定します。

On：表示する

Off：表示しない

初期設定：On

メモ

- 表示しないを設定した場合でも、マウス操作をすれば、状態表示パネルは表示されます。

[障害出力時間]

本機に障害が発生したときに外部に異常を知らせる信号を出力する時間を設定します。「0秒」に設定すると信号を出力しません。

0秒 / 2秒 / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分

Ext.：障害復帰操作をするまで信号を出力し続けます。

初期設定：2秒

メモ

- 障害復帰操作については、「エラー動作を解除する」(60ページ)をお読みください。

[映像遅延検知]

本機のモニターに表示するライブ映像が遅延したときにエラー検知するかを設定します。

On：検知する

Off：検知しない

初期設定：On

■ ログ情報

以下の履歴を確認できます。

- アクセスログ：本機へのアクセス履歴
- 操作ログ：本機の操作履歴
- ネットワークログ：ネットワークの障害履歴

それぞれの履歴を確認するには、[表示>] ボタンをクリックしてください。



メンテナンスに関する設定を行う [メンテナンス] (つづき)

アクセスログについて

本機にログイン/ログアウトした際の日時とユーザー名、またはIPアドレスを一覧で表示します。

履歴は500件まで記録されます。

500件を超えると、古い履歴から上書きされます。

**LOGIN / **LOGOUT

：ユーザーがログイン/ログアウト

**にはユーザー名またはIPアドレスが表示されます。

操作ログについて

特定の本機の操作をした際の日時と操作内容を一覧で表示します。

履歴は500件まで記録されます。

500件を超えると、古い履歴から上書きされます。

UPDATED SETTINGS

：設定を変更したとき

POWER ON

：本機を起動したとき

POWER ON (UPDATED)

：ソフトウェアの更新後に再起動したとき

POWER ON (RESTART SWITCH)

：リスタートボタンで再起動したとき

BEFORE TIME CHANGE MANUALLY

：システム日時を変更する直前

AFTER TIME CHANGE MANUALLY

：システム日時を変更した直後

BEFORE TIME CHANGE BY NTP

：NTPによってシステム日時が変更される直前

AFTER TIME CHANGE BY NTP

：NTPによってシステム日時が変更された直後

RESET ALL SETTINGS

：設定初期化が実施されたとき

POWER ON (MAINTENANCE)

：設定メニューの操作で再起動したとき

RESET HIGHEST TEMPERATURE

：最高温度情報をクリアしたとき

ネットワークログについて

ネットワーク障害の発生日時と障害内容を一覧で表示します。

履歴は100件まで記録されます。100件を超えると、古い履歴から上書きされます。ログの詳細については48ページをお読みください。

メモ

- ログ情報画面表示中は、情報更新はされません。

■保守・サービス用機能

本機の運用やカメラ追加のためのライセンス登録や、メンテナンスに必要な操作・設定を行います。

[ライセンス登録 (カメラ拡張)]

本機は、カメラ拡張のライセンスを追加登録することで最大64台のカメラが使用できるようになります。カメラの追加はお買い上げの販売店（設置工事店）にご相談ください。[設定>] ボタンをクリックするとライセンス登録画面が表示されます。(☞39ページ)

[設定データの保存 (USBメディアへ)]

設定メニューの設定内容をUSBメディア（外部記憶装置）に保存します。[実行] ボタンをクリックして表示された確認画面から保存します。

[設定データの読み込み (USBメディアから)]

USBメディア（外部記憶装置）に保存されている設定メニューの設定内容を本機に読み込みます。[実行>] ボタンをクリックして表示された確認画面から読み込みます。

重要

- 設定データの読み込みを行った後は、必ず設定保存ボタンをクリックし、一度メニューを抜けてください。

[ソフトウェアの更新]

USBメディア（外部記憶装置）に保存されている本機ソフトウェアを読み込み、バージョンアップします。[実行>] ボタンをクリックして表示された確認画面から更新処理を開始します。

ソフトウェア更新は管理者のみが実行できます。

メモ

- バージョンアップ中は、機器の電源を切らないでください。
- USBメディアの容量、記録内容により使用できるまでの時間が変わります。「メディアが挿入されていません」と表示された場合は、一度抜いて10秒以上待ってから、再度操作し直してください。
- 複数のUSBメディアを接続した状態で操作しないでください。
- exFATまたはFAT (FAT16)、FAT32形式でフォーマットされたUSBメディアを使用してください。
- パスワード認証付き外部記憶装置や、専用ドライバを必要とするもの、暗号化機能を使用するUSBメディアは使用できません。
- ソフトウェアの更新については、お買い上げの販売店（設置工事店）にお問い合わせください。

メンテナンスに関する設定を行う [メンテナンス] (つづき)

[その他の機能]

メンテナンス用データの保存画面などが表示されます。
(☞40ページ)

[設定の初期化]

設定メニューの設定内容を初期化します。[実行>] ボタンをクリックして表示された確認画面から初期化を実行します。

メモ

- 以下の設定項目は初期化、読み込みされません。
 - HTTPポート番号
 - ネットワークポート
 - DNS設定
 - ライセンス関連の各種番号

カメラ拡張のライセンスを登録する [ライセンス登録]

カメラを追加するためのライセンスを登録します。本機購入時はカメラ9台分のライセンスが付属されています。ライセンスを追加することで、16台、36台、64台とカメラを追加することができます。

なお、ライセンス登録には、キー管理システムから取得した解除キー番号が必要です。カメラ拡張の解除キー番号の取得方法は、カメラ拡張キット（別売り）の「起動情報案内カード」をお読みください。

重要

- カメラ拡張の解除キー番号を登録した場合は必ず最後に [再起動] ボタンをクリックし、本機を再起動させてください。本機が再起動しないと各ライセンスが有効になりません。
- 接続を追加したカメラは、「らくらくスタート」(☞取扱説明書 設置編 29ページ) でカメラ登録してください。また、各設定値は初期設定となりますので、必要に応じて各種設定を行ってください。



■ キー管理システム入力情報

解除キー番号を取得するためのID番号です。「起動情報案内カード」には、キー管理システムへのアクセス方法が記載されています。

■ ライセンス登録

本機にカメラ追加するための解除キー番号を登録します。

メンテナンスに関する設定を行う [メンテナンス] (つづき)

[カメラ拡張-解除キー番号1～3]

カメラを追加する場合、カメラ拡張キットの解除キー番号を入力します。解除キー番号を登録すると、以下のようにカメラ接続台数は増えます。

WJ-GXDE30JW	
解除キー番号なし	9
解除キー番号 1	16
解除キー番号 2	36
解除キー番号 3	64

解除キー番号の取得方法は、カメラ拡張キットに付属の「起動情報案内カード」をお読みください。入力欄右の [登録] ボタンをクリックすると、ライセンス登録画面が表示されます。

特殊な保守・サービス用機能を実行する [その他の機能]

すべての履歴データをUSBメディア（外部記憶装置）に保存します。



[メンテナンス用データの保存 (USBメディアへ)]

すべての履歴データをUSBメディア（外部記憶装置）へ保存します。

[実行] ボタンをクリックして表示された確認画面から実行するとUSBメディア(外部記憶装置)への保存が開始します。

メモ

- 複数のUSBメディアを接続した状態で操作しないでください。
- exFATまたはFAT (FAT16)、FAT32形式のUSBメディアを使用してください。
- パスワード認証付き外部記憶装置や、専用ドライバを必要とするもの、暗号化機能を使用するUSBメディアは使用できません。
- USBメディアの容量、記録内容により使用できるまでの時間が変わります。「メディアが挿入されていません」と表示された場合は、一度抜いて10秒以上待ってから、再度操作し直してください。

■販売店・連絡先情報

販売店（設置工事店）名や電話番号などの情報をソフトウェア（取扱説明書 設置編 11ページ）から2つまで登録できます。各欄とも、32文字まで入力できます。

登録が完了したら、[再起動] ボタンをクリックします。本機が再起動し登録した内容が、本機に反映されます。

[戻る] ボタン

ライセンスを有効にしない場合や、「販売店・連絡先情報」のみを変更した場合にクリックすると、[システム管理] タブに戻ります。

[本機を再起動する]

本機を再起動します。

[最高温度記録情報をクリアする]

本体内部温度の最高温度記録情報をクリアします。

[端子出力のテスト]

本機後面のアラーム/コントロール端子から信号を出力します。

対象 : 信号を出力する端子を選択します。

テスト出力時間

: 信号を出力する時間を2秒、5秒、10秒から選択します。

[実行] ボタンをクリックして表示された確認画面から実行すると、選択した出力端子から信号が出力されません。

セキュア機能の設定を行う [拡張機能]

設定メニュー [詳細設定] の拡張機能ページでは、セキュリティの設定を行います。



■ 本機とPC間のセキュリティ

本機とPC間をHTTPSで接続します。HTTPSを使用することで、本機へのアクセスを暗号化することができます、通信の安全性を高めることができます。

[接続方法]

本機への接続方法を設定します。

HTTP & HTTPS

: HTTPとHTTPS接続が可能になります。

HTTPS

: HTTPS接続のみ可能になります。

初期設定 : HTTP & HTTPS

[TLS 1.1]

HTTPS接続時にTLS 1.1を使用するかどうかを選択します。

チェックあり : 使用する

チェックなし : 使用しない

初期設定 : チェックあり

[HTTPSポート番号]

HTTPSで使用するポート番号を設定します。

1 ~ 65535

初期設定 : 443

メモ

- 以下の番号とHTTPポート番号、サイトアラーム受信ポート番号を設定することはできません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、79、80、105、110、123、161、162、546、547、995、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007、50000 ~ 50255

- ウェブブラウザの設定メニューでは、ルート証明書をダウンロードすることができます。



■ 本機とカメラ間のセキュリティ

本機とカメラ間の接続方法とデータ暗号の設定を行います。HTTPSを使用することで、本機へのアクセスを暗号化することができます、また、カメラの映像データを暗号化することで通信の安全性を高めることができます。

メモ

- サーバー証明書の有効期限が切れている場合は、障害情報欄に「-(有効期限切れ)」と表示されます。

「接続方法」の [設定 >] ボタンをクリックします。



拡張機能の設定を行う [拡張機能] (つづき)

[接続方法]

デコーダーとカメラの接続方法を設定します。

HTTP : HTTPで接続します。

HTTPS : HTTPSで接続します。

初期設定 : HTTP

メモ

- カメラがSSLに対応していない場合はHTTPSを選択できません。

[ポート番号]

デコーダーがカメラとSSL通信で使用するHTTPSポート番号を設定します。

1 ~ 65535

初期設定 : 443

「データ暗号設定」の[設定>]ボタンをクリックします。



■データ暗号用パスワード

[パスワード1 (4 ~ 16文字)]

[パスワード2 (4 ~ 16文字)]

カメラで設定したデータ暗号用のパスワードをソフトキーボードから入力します。パスワードは半角英数字と記号で4文字以上16文字以内で設定してください。パスワード1またはパスワード2が一致した場合にデータを復号します。

メモ

- カメラ側でデータ暗号を有効にしている場合はパスワードを設定してください。

[圧縮方式]

データ暗号される画像の圧縮方式が表示されます。

メモ

- カメラ画像の圧縮方式に合わせてH.265またはH.264、MJPEGを設定してください。圧縮方式が違くとカメラと通信できません。画像の圧縮方式をMJPEGに設定している場合、データ暗号に対応していないカメラがあります。

[データ暗号]

本機とカメラ間のデータ暗号を行います。

Off : データ暗号しない

On : データ暗号する

初期設定 : Off

メモ

- カメラがデータ暗号に対応していない場合はデータ暗号Onを選択できません。

重要

- データ暗号をOnに設定したカメラからのデータは暗号化されます。
- ライブ映像は、現在本機に設定されているデータ暗号用パスワードを用いて自動的にデータ復号を行います。
- 運用途中にデータ暗号用パスワードを変更した場合、モニターでは、画像の代わりに黒画(鍵マーク付)※が表示されます。
※鍵マークのない黒画の場合もあります。

設定項目一覧（設定メニュー）

簡単設定（らくらくスタート）

設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定
日付・時刻合わせ		2016/1/1 0:00 ~ 2037/12/31 23:59	20nn/mm/1 0:00 (nn, mm : 本体シリアル番号から算出する)
カメラ登録	圧縮方式	H.265、H.264、MJPEG	H.265
	ユーザー名	(テキスト入力)	(空欄)
	パスワード	(テキスト入力)	(空欄)

基本設定

(備考：●はらくらくスタートで設定できる項目、◎はウェブブラウザから設定できる項目、

★はウェブブラウザのみで設定できる項目)

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考		
日時	日付・時刻合わせ	日付・時刻	2016/1/1 0:00 ~ 2037/12/31 23:59	20nn/mm/1 0:00 (nn, mmは本体シリアル番号から算出する)	● ◎		
	日時表示設定	表示形式	日付	yyyy/mm/dd、Mmm/dd/yyyy、dd/Mmm/yyyy、mm/dd/yyyy、dd/mm/yyyy	yyyy/mm/dd	◎	
			時刻	24時間、12時間	24時間	◎	
カメラ	カメラ登録	品番	(表示のみ)	(表示のみ)	◎		
		アドレス	(表示のみ)	(表示のみ)	◎		
		圧縮方式	(表示のみ)	(表示のみ)	◎		
		障害情報	(表示のみ)	(表示のみ)	◎		
		登録情報の変更	品番/オプション	対応するカメラの品番/オプション	(空欄)	◎	
			アドレス	(アドレス)	(空欄)	◎	
			圧縮方式	H.265、H.264、MJPEG	(空欄)	◎ ●	
			音声	Off、On	Off	◎	
			認証方式	Digest、Digest or Basic、Basic	(空欄)	◎	
			ユーザー名	(テキスト入力)	(空欄)	◎ ●	
			パスワード	(テキスト入力)	(空欄)	◎ ●	
			ポート番号	(ポート番号)	80	◎	
		ストリーム選択			オート1、2、3、4	オート1	◎
		オート1~4	1080p	1画、2画、3画(縦長)、4画(縦長)	ストリーム1、2、3、4	ストリーム1	◎
				3画(左大)、3画(右大)、4画、6画、5画(縦長)、6画(縦長)、7画(縦長)	ストリーム1、2、3、4	オート1,4:ストリーム2 オート2,3:ストリーム3	◎
9画、16画、25画、36画、64画	ストリーム2、3、4			オート1,2:ストリーム2 オート3,4:ストリーム3	◎		
4K	1画、2画、3画(縦長)、4画(縦長)			ストリーム1、2、3、4	ストリーム1	◎	
	3画(左大)、3画(右大)、4画、6画、9画、5画(縦長)、6画(縦長)、7画(縦長)	ストリーム1、2、3、4	ストリーム1	◎			
	16画、25画、36画、64画	ストリーム2、3、4	オート1,2:ストリーム2 オート3,4:ストリーム3	◎			

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
カメラ	シーケンス設定	グループシーケンス 1～22	グループ追加	グループ1～400	シーケンス 1：グループ 1～16 有 シーケンス 2：グループ 17～80 有 シーケンス 3～22：グループ登録無	◎
		グループ 1～400	画面分割	1画、3画（左、右大画面）、4画、6画、9画、16画、25画、36画、64画、2画（縦長）、3画（縦長）、4画（縦長）、5画（縦長）、6画（縦長）、7画（縦長）	グループ1～16：4画 グループ17～400：1画	◎
			カメラ選択	カメラ1～64	グループ1：カメラ1-4 グループ2：カメラ5-8 ↓ グループ16：カメラ 61-64 グループ17：カメラ1 グループ18：カメラ2 ↓ グループ80：カメラ64 グループ81～400：カメラ1 ^{*1}	◎
		魚眼補正	魚眼、4画PTZ、1画PTZ	魚眼		
	高度な設定	接続方式	RTP、RTSP、インターネットモード	RTP	◎	
イベント	イベント設定	アラーム動作	出力時間	0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、Ext.	2秒	◎
			自動復帰時間	2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、3分、5分、Ext.	Ext.	◎
			アラーム枠表示	Off、On	On	◎
			メインモニター連動動作	Off、On、On（アラーム確認/復帰）	Off	◎
		カメラサイトアラーム詳細設定	動作モード	Off、アラーム動作	アラーム動作	◎
			アラーム履歴	保存する、保存しない	保存する	◎
		コマンドアラーム詳細設定	動作モード	Off、アラーム動作	アラーム動作	◎
			アラーム履歴	保存する、保存しない	保存する	◎
	高度な設定	アラームマスク時間		2秒、3秒、5秒、10秒	2秒	◎
		サイトアラーム受信ポート番号		（ポート番号）	1818	◎
		機能拡張ソフトウェアアラーム	名称	（テキスト入力）	No.1：侵入検知、No.2：滞留検知、No.3：方向検知、No.4：ラインクロス、No.5：ユーザー定義1、No.6：ユーザー定義2、No.7：ユーザー定義3、No.8：ユーザー定義4	◎
			メッセージID	000～255、---	No.1：50、No.2：51、No.3：52、No.4：56 No.5-8：---	◎
		スケジュール	スケジュール設定	スケジュール 1～6	動作モード	固定表示、シーケンス
詳細	固定表示：グループ1、…、グループ400 シーケンス：1画、4画、6画、9画、16画、25画、シーケンス1、…、22				4画	◎
切替間隔	3秒、5秒、10秒、15秒、20秒、30秒、45秒、1分			5秒	◎	
表示する曜日（月、火、…、日）	チェック有/無			無	◎	
表示する時間帯	--:--、00:00～24:00			--:--	◎	
高度な設定	スペシャルデー		1/1～12/31 曜日：月、火、水、木、金、土、日	--	◎	

※ 1 ライセンス数を超えるカメラ番号はチェックが付きません。

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

詳細設定

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
モニター	メインモニター	カメラタイトル	表示	Off、On	On	◎
			位置	左上、左下、右上、右下	右上	◎
			文字サイズ	標準、大、特大	標準	◎
			カメラタイトル	（テキスト入力）	CAM1、…、CAM64	◎
		スタートモニター	動作モード	固定表示、シーケンス、出力なし	シーケンス	◎
			詳細	固定表示:グループ1、…、グループ400 シーケンス:1画、4画、6画、9画、16画、25画、シーケンス1、…、22	4画	◎
			切換間隔	3秒、5秒、10秒、15秒、20秒、30秒、45秒、1分	5秒	◎
		その他の設定	HDMI出力を以下の信号形式に固定する	チェック 有/無	無	◎
			HDMI出力を以下の信号形式に固定する	4K、1080p	1080p	◎
			アスペクト比を維持して表示する	チェック 有/無	無	◎
		ネットワーク	基本	ネットワーク設定	IPアドレス	（IPアドレス）
サブネットマスク	（IPアドレス）				255.255.255.0	◎
デフォルトゲートウェイ	（IPアドレス）				192.168.0.1	◎
通信速度	Auto、100M-Full、100M-Half、10M-Full、10M-Half				Auto	◎
DNS設定	DNS			Off、Manual	Off	◎
	プライマリーサーバーアドレス			（IPアドレス）	0.0.0.0	◎
	セカンダリーサーバーアドレス			（IPアドレス）	0.0.0.0	◎
	ドメイン名			（テキスト入力）	localdomain	◎
その他の設定	HTTPポート番号			（ポート番号）	80	◎
	IP簡単設定有効期間			20分間、無制限	20分間	◎
	NTP/SNMP		NTP設定	デコーダー時刻自動調整（NTP）	Off、On	Off
プライマリーサーバーアドレス				（テキスト入力）	（空欄）	◎
セカンダリーサーバーアドレス				（テキスト入力）	（空欄）	◎
SNMP設定			コミュニティ名	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			機器名	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			機器の物理的位置	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			連絡先	（テキスト入力）	（空欄）	◎
ユーザー管理	基本		ユーザー認証	Off、On	On	◎
			ホスト認証	Off、On	Off	◎
	ユーザー登録	新規ユーザー情報の登録	ユーザー名	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			パスワード	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			レベル	マネージャー、オペレーター	オペレーター	◎
	管理者設定	管理者情報の変更	管理者名	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			パスワード	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			パスワード（再入力）	（テキスト入力）	（空欄）	◎
	ホスト登録	新規ホスト情報の登録	ホストIPアドレス	（IPアドレス）	（空欄）	◎
			レベル	マネージャー、オペレーター	マネージャー	◎

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
メンテナンス	システム情報	ソフトウェアバージョン	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
		ハードウェアバージョン	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
		シリアル番号	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
		ネットワークポート	MACアドレス	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
			IPアドレス	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
			通信速度	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
		本体内部現在温度	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
	最高温度記録	(表示のみ)	(表示のみ)	◎		
	システム管理	システム設定	障害表示	Off、On	On	◎
			障害出力時間	0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、Ext.	2秒	◎
			映像遅延検知	Off、On	On	◎
		ログ情報	アクセスログ（発生日時、内容）	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
			操作ログ（発生日時、内容）	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
			ネットワークログ（発生日時、内容）	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
			アラームログ（発生日時、内容）	(表示のみ)	(表示のみ)	★
			エラーログ（発生日時、内容）	(表示のみ)	(表示のみ)	★
			キー管理システム入力情報	機器ID番号（MPR-ID）	(なし)	(機器固有番号)
		カメラ拡張	解除キー番号1	(テキスト入力)	(空欄)	◎
			解除キー番号2	(テキスト入力)	(空欄)	◎
			解除キー番号3	(テキスト入力)	(空欄)	◎
		販売店・連絡先情報		(テキスト入力)	(空欄)	◎
		保守・サービス用機能	設定データの保存（USBメディアへ）	(なし)	(なし)	
			設定データの読み込み（USBメディアから）	(なし)	(なし)	
			ソフトウェアの更新	(なし)	(なし)	◎
			メンテナンス用データの保存（USBメディアへ）	(なし)	(なし)	
			本機を再起動する	(なし)	(なし)	◎
			最高温度記録情報をクリアする	(なし)	(なし)	◎
端子出力のテスト（対象）	異常出力端子、アラーム出力端子		異常出力端子	◎		
端子出力のテスト（テスト出力時間）	2秒、5秒、10秒		2秒	◎		
設定の初期化	(なし)		(なし)	◎		
拡張機能	セキュリティ	本機とPC間のセキュリティ	接続方法	HTTP & HTTPS、HTTPS	HTTP & HTTPS	◎
			TLS 1.1	チェック 有/無	有	◎
			TLS 1.2	チェック 有/無	有、固定	◎
			TLS 1.3	チェック 有/無	有、固定	◎
			HTTPSポート番号	(ポート番号)	443	◎
			ルート証明書取得	(なし)	(なし)	★
	本機とカメラ間のセキュリティ		接続方法	HTTP、HTTPS	HTTP	◎
			ポート番号	(ポート番号)	443	◎
			データ暗号用パスワード1	(テキスト入力)	(空欄)	◎
			データ暗号用パスワード2	(テキスト入力)	(空欄)	◎
			データ暗号設定	Off、On	Off	◎

エラー履歴・ネットワークログについて

エラー履歴について

ここでは、モニターの状態表示パネルの表示と、障害発生履歴（エラー履歴）の表示およびその内容について説明します。

エラー履歴の表示は、障害履歴（モニター）とエラーログ（ウェブブラウザ）で共通です。

- 「f」はFANの番号を示します。
- 「cc」はカメラ番号を示します。

エラーの内容	状態表示パネル表示	障害履歴/エラーログ	後面端子出力
温度異常警告	温度異常：MAIN	温度異常：MAIN	異常出力
FAN警告	ファン異常：MAIN f	ファン異常：MAIN f	異常出力
NWカメラ障害検出	通信エラー：カメラcc	通信エラー：カメラcc	異常出力
NWカメラ障害復旧	—	通信復旧：カメラcc	—
NWカメラ障害検出（音声）	音声通信エラー：カメラcc	音声通信エラー：カメラcc	異常出力
NWカメラ障害復旧（音声）	—	音声通信復旧：カメラcc	—
Videoロス （エンコーダーのカメラ接続断の通知）	ビデオロス：カメラcc	ビデオロス：カメラcc	異常出力
Videoロス復旧 （エンコーダーのカメラ接続断の通知）	—	ビデオ復旧：カメラcc	—
再起動（CPU関連）	—	システム再起動（CPU）	—
再起動（DEC関連）	—	システム再起動（DEC）	—
コピーメディアライトエラー	コピー失敗	書き込みエラー：USB	—
コピーメディアリードエラー	—	読み込みエラー：USB	—
コピーメディアフル	—	残容量無し：USB	—
NWリンク外れエラー	NWリンクエラー	NWリンクエラー： カメラ/PCポート	—
通信速度警告（Auto設定時にHalfになったとき）	NW通信速度警告	NW通信速度警告： カメラ/PCポート	—
NTPサーバーとの時差が1000秒以上のため時刻を合わせなかったとき	NTP日時調整失敗	NTP日時調整失敗	—
カメラのハードウェアエラー	ハードウェアエラー： カメラcc	ハードウェアエラー： カメラcc	異常出力
ワイパーゴム交換目安通知	ワイパーゴム交換時期： カメラcc	ワイパーゴム交換時期： カメラcc	異常出力
NWカメラ障害検出（映像）	映像通信エラー：カメラcc	映像通信エラー：カメラcc	異常出力
NWカメラ障害復旧（映像）	—	映像通信復旧：カメラcc	—
ライブ映像遅延	映像遅延：カメラcc	映像遅延：カメラcc	異常出力

エラー履歴・ネットワークログについて（つづき）

ネットワークログについて

ここでは設定画面の [メンテナンス] - [システム管理] - [ネットワークログ] に表示される本機のネットワークに関する履歴表示とその内容について説明します。

表示内容はウェブブラウザと共通です。

内容	ネットワークログ	後面端子出力
NTPサーバーの時刻への同期成功	<NTP>GET_TIME_OK	—
DNSからNTPサーバーアドレス解決できず	<NTP>SVR_ADD_ERR	—
NTP取得時刻異常（時計が同期していない）	<NTP>TIME_INVALID	—
時刻設定失敗	<NTP>SET_TIME_ERR	—
NTPサーバー見つからず	<NTP>SVR_ERR	—
NTPその他のエラー	<NTP>OTHER_ERR	—
SNMPユーザー名パスワードエラー	<SNMP>USER_PASS_ERR	—
SNMPオブジェクト取得失敗	<SNMP>OBJ_ERR	—
SNMPその他のエラー	<SNMP>OTHER_ERR	—
HTTP 要求無効	<HTTP>REQUEST_ERR	—
HTTP その他のエラー	<HTTP>OTHER_ERR	—

運用画面について

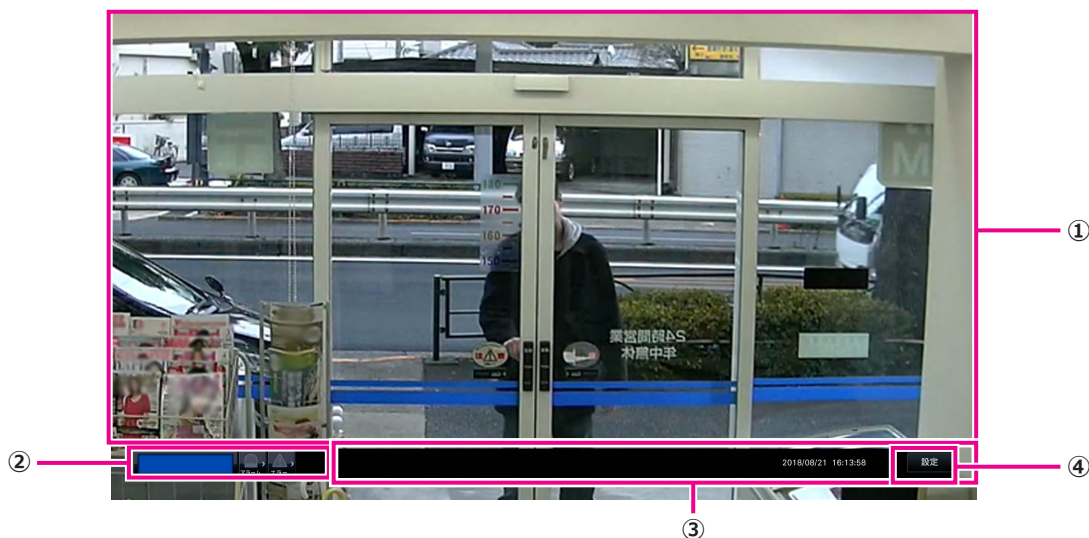
ここでは、本機のマウス接続ポートに接続したマウス（付属品）から本機の操作を行う場合について説明します。

メインモニター（ライブ画像、設定メニューを表示するモニターです）

メインモニターは、ライブ画像と設定メニューの表示を切り換えて使用します。

ライブ画像表示

ライブ画像表示と本機状態を表示する画面です。



① 画像表示部

カメラ画像を表示します。（☞55ページ）

② 状態表示パネル

本機の状態を表示します。アラームやエラーの発生状態や対処操作も行います。（☞51ページ）

③ ポップアップバー

通常は非表示でマウス操作、エラー発生すると表示が現れます。

本機の現在の日付と時刻を表示します。

④ [設定] ボタン

メインモニターの表示を設定画面表示に切り換えます。

運用画面について（つづき）

画像表示部について

ライブ画像を表示します。



カメラタイトル・日時表示

設定したカメラタイトルを表示します。表示位置は左上・左下・右上・右下から選ぶことができます（初期設定：右上）。また、文字の大きさは、標準、大、特大から選ぶことができます（初期設定：標準）。日時はカメラ側の設定により表示されます。

アラーム枠

アラームが発生したカメラの画像を赤枠で表します。複数のカメラでアラームが発生した場合、それぞれのカメラの画像に赤枠表示します。アラーム自動復帰時間経過、もしくはアラーム復帰操作により全ての赤枠表示が消えます。

画像表示部

電源On、設定画面を終了したときなどに画面表示部へ最初に表示する画面（スタートモニター）を設定できます。選択できる画面は以下です。スタートモニターの設定については、27ページをお読みください。スケジュール設定時、スケジュール時間内はスケジュール設定が優先されます。

固定表示	: グループ 1 ~ 400
シーケンス	: 1画、4画、6画、9画、16画、25画、グループシーケンス 1-22
出力なし	: 黒画を表示

グループは1画、3画（左大画面）、3画（右大画面）、4画、6画、9画、16画、25画、36画、64画
2画（縦長）、3画（縦長）、4画（縦長）、5画（縦長）、6画（縦長）、7画（縦長）の分割画面から選択できます。
1画シーケンスから25画シーケンスまでは登録したカメラをつめて表示します。
固定表示、グループ、シーケンス、グループシーケンスはあらかじめ設定が必要です。

運用画面について（つづき）

状態表示パネルについて

通常時



アラーム・エラー発生時（各種ボタン表示時）



①状態表示部

本機の状態を以下の内容で表示します。複数の状態が重なったときは、優先順位によって表示します。優先順位が同じ状態では、後から発生した状態を表示します。

状態	内容	表示例	優先順位
ライブ中	ライブ画像を表示しています。		3（低）
アラーム発生中	アラームが発生しています。アラーム内容を表示します。		2
エラー発生中	エラーが発生しています。エラー内容を表示します。		1

②アラームボタン

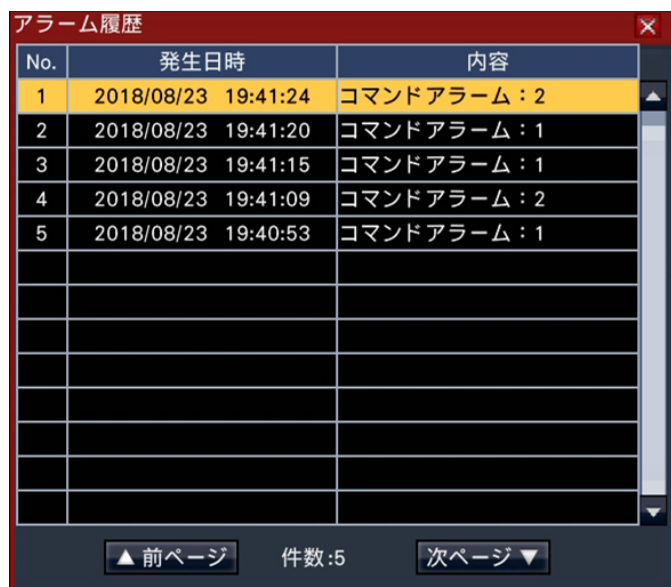
アラームの発生状況を示します。アラーム発生時は赤くなります。ボタンをクリックして、アラーム履歴表示ボタン、アラーム復帰ボタンなどの表示／非表示を切り換えます。

③エラーボタン

エラーの発生状況を表示します。エラー発生時は黄色になります。ボタンをクリックして、エラー履歴表示ボタン、エラー復帰ボタンの表示／非表示を切り換えます。

④アラーム履歴表示ボタン

モニター画面上にアラーム履歴を表示します。アラーム履歴は1000件まで記録できます。1000件を超えると、古い履歴から上書きされます。



運用画面について（つづき）

⑤アラーム復帰ボタン

アラーム動作を解除します。アラーム発生時のみクリックすることができます。

⑥エラー履歴表示ボタン

モニター画面上にエラー（障害）履歴を表示します。エラー履歴は1000件まで記録できます。1000件を超えると、古い履歴から上書きされます。

No.	発生日時	内容
1	2018/08/23 09:06:14	NWリンクエラー：カメラ/PC ポート
2	2018/08/23 08:59:37	ファン異常：MAIN 1
3	2018/08/23 03:29:27	読み込みエラー：USB
4	2018/08/23 02:16:41	書き込みエラー：USB
5	2018/08/23 02:15:57	ファン異常：MAIN 1
6	2018/07/04 15:08:32	通信復旧：カメラ2
7	2018/07/04 15:08:32	通信エラー：カメラ2
8	2018/07/04 10:12:46	システム再起動(CPU)
9	2018/07/03 13:36:58	通信復旧：カメラ2
10	2018/07/03 13:36:57	通信エラー：カメラ2

▲前ページ 件数:12 次ページ ▼

対処方法
ネットワークがリンクダウンしました。Ethernetケーブルの抜けや、ネットワークスイッチに問題がないか確認してください。

⑦エラー復帰ボタン

エラー（障害）動作を解除します。エラー発生時のみクリックすることができます。

エラー発生時のポップアップバー表示は設定によりOffにできます。マウス操作をすると表示します。

アナログモニター（メインモニターの出力をアナログに変換して表示するモニターです）

アナログモニターには、メインモニターと同じ画像が表示されます。

メモ

- カメラ画像内の日時や文字表示はアナログモニターにも表示されますが、一部が欠ける場合があります。
- 切り換わるタイミングによって、カメラ画像が表示される前に黒画が表示されることがあります。
- シーケンス動作時は、カメラ画像が切り換わるタイミングに黒画が表示されます。
- カメラ異常が発生しているカメラの画像は表示されません。
- 初期設定では、画像のアスペクト比に関わらず、画面に合わせて画像を表示します。アナログモニター（BNC）のアスペクト比が4:3の場合は、メインモニター（HDMI）の表示に比べて縦長に表示されます。
- アナログモニター使用時は表示できる範囲が狭まり、画面端の日付やカメラ名が一部表示されないことがあります。
- アナログモニターにも設定メニューが表示されますが、モニターによっては小さい文字がつぶれて表示されます。設定はメインモニターで行ってください。

基本的な操作のしかた



本機の操作は、本機に接続したマウスを使ってモニター上に表示されるマウスカーソルを移動させ、画面上のボタンやタブを左クリックして行います。(以降、本書では左クリックをクリックと表記します。)

[▲] / [▼] ボタンのある設定欄では、カーソルの位置の値をマウスホイールで変更できます。例えば、時刻の設定では、時、分、秒の単位で変更します。

マウスカーソルの形状は、表示画面やマウス操作によって以下のようになります。

-  : 通常時
-  : カメラ番号パネルのドラッグ時

メモ

- ポップアップバーは通常非表示ですがマウス操作で表示されます。5秒間何も操作しないと非表示になります。
- 10秒間、何も操作しないとマウスカーソルが非表示になります。マウスを動かすと再び表示されます。
- マウス接続ポートはコネクタを差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

ログイン操作について

設定画面を表示するにはマウスを操作し、モニターにポップアップバーが表示されたら、以下の手順でユーザー名とパスワードを入力します。

STEP1

ポップアップバーの「設定」ボタンをクリックします。
→ログイン画面が表示されます。

STEP2

ユーザー名とパスワードを入力します。入力のしかたは「ソフトキーボードを使って文字を入力する」(☞取扱説明書 設置編 11ページ)をお読みください。



- ユーザー登録のしかたは、33ページをお読みください。

メモ

- 入力したパスワードは「*」で表示されます。

STEP3

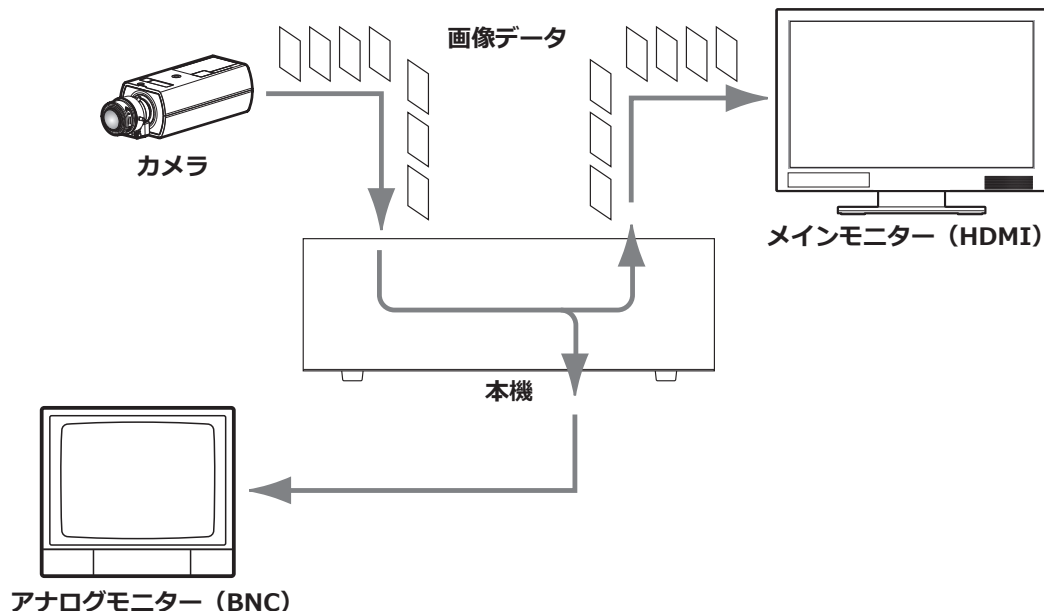
[OK] ボタンをクリックします。
→入力したユーザー名、パスワードが正しいと、ログイン画面が消え、設定画面を表示します。入力したユーザー名、パスワードが間違っていると、エラー画面が表示されます。エラー画面を閉じて再度ログインしてください。

メモ

- お買い上げ時は管理者が登録されていません。初回起動時にはモニターに「管理者登録」画面が表示されますので、画面に従って管理者名、パスワード、およびパスワード確認を入力し、[登録] ボタンをクリックしてください。
- セキュリティを確保するために、管理者名およびパスワードは定期的に変更してください。パスワードの変更方法は、34ページをお読みください。
- ログアウトするときは、設定画面上の[設定終了] ボタンをクリックします。ログアウト（設定終了）すると、スケジュール設定、もしくはスタートモニターに従っても画像表示します。
- 「ユーザー認証」が「Off」の場合は、本ページの操作は不要です。

カメラのライブ画像を見る

本機を起動すると、設定された内容に従ってカメラのライブ画像がモニターに表示されます。
カメラ画像は本機を経由してライブ表示します。



ライブ画像はメインモニターに1画面または多画面で表示することができます。また、アナログモニターはメインモニターと同じ表示をします。

カメラ設定で「音声」を「On」に設定しているカメラ (☞14ページ) の画像を表示しているときはそのカメラの音声はメインモニターで出力されます。多画面で表示しているときは左上に表示しているカメラの音声は出力されます。

メモ

- ご使用のカメラやネットワーク環境によっては、カメラのライブ音声が遅延することがあります。
- ライブ画像と音声を同期させるため音声データの更新処理を行っています。
この処理によりカメラのライブ音声が一瞬途切れることがあります。
- 25画シーケンスは、カメラ画像が切り換わるタイミングに黒画が表示されます。
- 圧縮方式がJPEG、解像度が1.6M (1280×1280) より高い解像度に設定されているカメラは、9画シーケンスと16画シーケンスでカメラ画像を表示することができません。

カメラのライブ画像を見る（つづき）

1画面 (16:9)	3画面 (左大画面) (16:9)	3画面 (右大画面) (16:9)	4画面 (16:9)
1	1 2 3	1 2 3	1 2 3 4
6画面 (16:9)	9画面 (16:9)	16画面 (16:9)	25画面 (16:9)
1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6 7 8 9	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25
36画面 (16:9)	64画面 (16:9)	2画面	3画面
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64	1 2	1 2 3
4画面	5画面	6画面	7画面
1 2 3 4	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6 7

メモ

- 1つのグループに同一カメラを重複して設定できません。
- 割り当てたカメラ位置は電源を切ったり、再起動したりしても記憶されています（設定の初期化を行うと、カメラ位置の情報も初期化されます）。
- 画面左上のカメラの音声が出力されます。
- 音声をミュートしたいときは登録情報の変更で音声をOffにするか、またはHDMIモニターをミュートしてください。
- 元画像のアスペクト比が4:3または16:9の場合は、画像のアスペクト比に関わらず、画面に合わせて画像を表示します。設定により元画像のアスペクト比を維持して表示できます。
- 接続モニターの対応解像度、または、登録カメラの圧縮方式や解像度の設定によっては、多画面で表示できないことがあります。
- カメラ画像のフレームレートが下表の値を超えると1ipsで動作します。
また、運用中にカメラ本体の設定を下表を超える値に変更すると、映像が遅延する場合があります。5秒以上遅延が続くとエラー出力します。画面分割パターンを小さくする、または、カメラの解像度、フレームレート、ストリーム選択の見直しを行ってください。

カメラのライブ画像を見る（つづき）

【4K/1080pモニター接続、H.264/H.265】

画面分割 \ 解像度	12M (4000x3000)	9M (2992x2992)	4KUHD (3840x2160)	5M (3072x1728) (2192x2192) 4M (2688x1520)	4M (2048x2048) WQHD (2560x1440)	QXGA (2048x1536)
1画表示	30ips	30ips	30ips	60ips	60ips	60ips
2画表示						
1画シーケンス	15ips	30ips	30ips	60ips	60ips	60ips
3画表示	15ips	15ips	15ips	30ips	30ips	60ips
4画表示	10ips	15ips	15ips	30ips	30ips	30ips
5画表示	10ips	10ips	10ips	15ips	15ips	30ips
6画表示	10ips	10ips	10ips	15ips	15ips	30ips
7画表示	5ips	5ips	10ips	15ips	15ips	15ips
4画シーケンス	×	5ips	5ips	10ips	15ips	15ips
9画表示	×	5ips	5ips	10ips	15ips	15ips
6画シーケンス	×	×	×	×	×	×
16画表示	×	×	×	×	×	×
9画シーケンス	×	×	×	×	×	×
25画表示	×	×	×	×	×	×
36画表示						
16画シーケンス	×	×	×	×	×	×
64画表示	×	×	×	×	×	×

画面分割 \ 解像度	FHD(1920x1080)	1.6M(1280x1280)	SXVGA(1280x960) HD(1280x720)	VGA(640x480) HVGAW(640x360)
1画表示	60ips	60ips	60ips	60ips
2画表示				
1画シーケンス	60ips	60ips	60ips	60ips
3画表示	60ips	60ips	60ips	60ips
4画表示	60ips	60ips	60ips	60ips
5画表示	30ips	60ips	60ips	60ips
6画表示	30ips	30ips	60ips	60ips
7画表示	30ips	30ips	30ips	60ips
4画シーケンス	30ips	30ips	30ips	60ips
9画表示	30ips	30ips	30ips	60ips
6画シーケンス	15ips	15ips	30ips	60ips
16画表示	15ips	15ips	30ips	60ips
9画シーケンス	15ips	15ips	15ips	60ips
25画表示	10ips	10ips	15ips	60ips
36画表示				
16画シーケンス	×	×	×	15ips
64画表示	×	×	×	10ips

【4K/1080pモニター接続、JPEG】

画面分割 \ 解像度	12M (4000x3000)	WQHD (2560x1440) ~ 9M (2992x2992)	QXGA (2048x1536)	1.6M (1280x1280) ~ FHD (1920x1080)	HVGAW (640x360) ~ SXVGA (1280x960)
1画～ 3画表示	○	○	○	○	○
4画表示	×	○	○	○	○
5画～ 9画表示					
4画シーケンス	×	×	○	○	○
16画表示					
6画シーケンス	×	×	×	○	○
25画～ 64画表示					
9画/16画シーケンス	×	×	×	×	○

カメラのライブ画像を見る（つづき）

- データ暗号設定がOnのカメラは、カメラ画像のフレームレートが下表の値を超えると1ipsで動作します。

画面分割 (メイン)	解像度	H.264/H.265				
		12M (4000×3000)	9M~QXGA (2992×2992)~ (2048×1536)	FHD (1920×1080)	1.6M~HD (1280×1280)~ (1280×720)	VGA (640×480) HVGAW (640×360)
1画		5ips	15ips	15ips	15ips	15ips
2画表示 1画シーケンス		1ips	5ips	5ips	15ips	15ips
3画		1ips	5ips	5ips	10ips	15ips
4画/5画		×	×	5ips	5ips	15ips
6画～16画表示 4画/6画シーケンス		×	×	5ips	5ips	10ips
25画表示 9画シーケンス		×	×	×	×	10ips
36画表示 16画シーケンス		×	×	×	×	5ips
64画		×	×	×	×	1ips

画面分割 (メイン)	解像度	JPEG				
		12M (4000×3000)	9M~QXGA (2992×2992)~ (2048×1536)	1.6M~FHD (1280×1280)~ (1920×1080)	SXVGA~HD (1280×960)~ (1280×720)	VGA (640×480) HVGAW (640×360)
1画～3画		1ips	5ips	5ips	5ips	5ips
4画～9画表示 4画シーケンス		×	×	5ips	5ips	5ips
16画表示 6画シーケンス		×	×	1ips	1ips	1ips
25画表示 9画シーケンス		×	×	×	1ips	1ips
36画/64画表示 16画シーケンス		×	×	×	×	1ips

イベント機能について

本機は以下のイベントが発生すると、設定に従いイベント動作を行います。

- カメラサイトアラーム：カメラで検出したアラーム（カメラ端子アラームなど）
- コマンドアラーム：ネットワークを経由してPCなどから入力したアラーム

イベント発生時の動作

イベントが発生し本機がイベントを認識すると、設定されている動作モードに従ってイベント動作を行います。

動作モードについて

本機では、イベント発生時の動作は以下の動作モードのいずれかになります。動作モードは設定メニューで設定します。（☞23ページ）

- アラーム動作：すべてのイベント動作を設定に従って行います。（下表のA）
 Off：アラーム履歴の記録のみを行います。（下表のB）

設定している動作モードによって、イベント発生時の動作は異なります。詳しくはシステムの管理者へご確認ください。

イベント動作	説明	動作モード ※1	
		A	B
アラーム動作	アラームランプを点滅する	○	×
	アラーム信号を出力する	●	×
	モニター上にイベント情報を表示する※3	○	×
	アラーム履歴を記録する※2, ※3	●	●
	アラーム発生時に1画で表示する※4	●	×
アラーム枠を表示する	アラーム発生したカメラの画像を赤枠で囲みます。	●	×

- ※1 ○：設定にかかわらず動作する、●：設定に従い動作する、×：動作しない
 ※2 カメラの「アラームエリア情報付加」設定を「On」にしたときは、i-VMD種別情報がアラーム履歴に表示されます。詳細は、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。
 ※3 機能拡張ソフトウェアアラームは名称（☞24ページ）が表示されます。設定していないメッセージIDで通知されたアラームは、「未定義のアラーム」と表示されます。
 ※4 同じアドレスのカメラが複数登録されている場合、カメラサイトアラームはカメラ番号の小さいカメラが1画で表示されます。

イベント機能について（つづき）

アラーム動作を解除する

イベントが入力されると、本機は設定に従ってアラーム動作を開始します。モニターの状態表示パネルには、発生したアラームの情報が表示されます（☞51ページ）。アラーム動作を解除するには状態表示パネルのアラームボタンをクリックし、表示されたアラーム復帰ボタンをクリックします。

設定メニュー [基本設定] の [イベント] - [イベント設定] タブの「自動復帰時間」（☞22ページ）が「Ext.」以外に設定されているときは、アラーム復帰ボタンをクリックしてアラーム動作を解除しない場合でも、以下の動作は自動的に行われます。

- 前面パネルのアラームランプが点滅から点灯に変わる
- モニターのアラーム状態表示が消える
- アラーム出力を停止する

STEP1

モニターに表示されるアラームボタンをクリックして、表示されたアラーム復帰ボタンをクリックします。



→アラーム動作が解除され、アラームランプが消灯します。

メモ

- アラーム動作を解除すると、アラーム動作前の状態に戻ります。

エラー動作を解除する

本機にエラー（障害）が発生すると、本機はエラー動作（エラーが発生していることを知らせる一連の動作）を行います。モニターの状態表示パネルには、発生したエラー情報が表示されます。（☞51ページ）エラー動作を解除するには、状態表示パネルのエラーボタンをクリックして、表示されたエラー復帰ボタンをクリックします。

メモ

- エラーが発生したら、エラー履歴表示パネル（☞52ページ）に表示された対処方法に従い、対策を行ってください。本機前面のエラーランプは、エラーの原因が解消されると消灯します。
 - エラーの原因が自動的に解消された場合は、以下の動作が自動的に行われます。
 - 前面パネルのエラーランプが点滅から点灯に変わる
 - モニターのエラー状態表示が消える
 - エラー出力を停止する
- ※「ライブ映像遅延」は、約13時間周期で遅延の監視をリセットするため、エラー原因の解消有無に関わらず、上記の動作が自動的に行われます。（H.264/H.265の場合）
- エラー復帰ボタンをクリックすると、エラーボタンおよびエラーランプが消灯します。

操作項目一覧

下記の「大項目」は主に操作、「中項目」、「小項目」、「詳細」は主にモニターやブラウザーの各操作メニューを表しています。

○は操作可能、△は一部制限あり、×は操作不可を表しています。

大項目	中項目	小項目	詳細	補足	本体	ブラウザー
ライブモニターリング	メインモニター	全画面表示	画像表示部		○	×
			状態表示パネル		○	×
	アナログモニター	全画面表示	画像表示部		○	×
			状態表示パネル		○	×
アラーム動作	イベント発生時の動作	-	-		○	○
	アラーム動作を解除する	-	-		○	○
	エラー動作を解除する	-	-		○	○
	アラーム履歴を表示する	-	-		○	○
	エラー履歴を表示する	-	-		○	○

ネットワーク設定を行う

本機の設定は、マウスを接続して操作する以外に、PCのウェブブラウザから行うことができます（一部の機能や設定を除きます）。本ページ以降では、ウェブブラウザからの操作方法とPCの事前準備などを説明します。

ウェブブラウザから本機を操作する場合、まず、本機やPCのネットワーク設定を行う必要があります。PCのネットワーク環境が以下の場合、設定は不要です。接続完了後、ウェブブラウザから本機の設定および操作を行うことができます。

IPアドレス: 192.168.0.2~192.168.0.239、192.168.0.241~192.168.0.254

サブネットマスク: 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ: 192.168.0.1

上記以外に設定されている場合、本機またはPCのネットワークの設定を行ってください。

本機のネットワーク設定を行う

本機のネットワーク設定は、設定メニュー [詳細設定] の [ネットワーク] の [基本] タブで行います。操作方法など詳細については、29ページの設定メニュー [ネットワーク] - [基本] タブの項をお読みください。

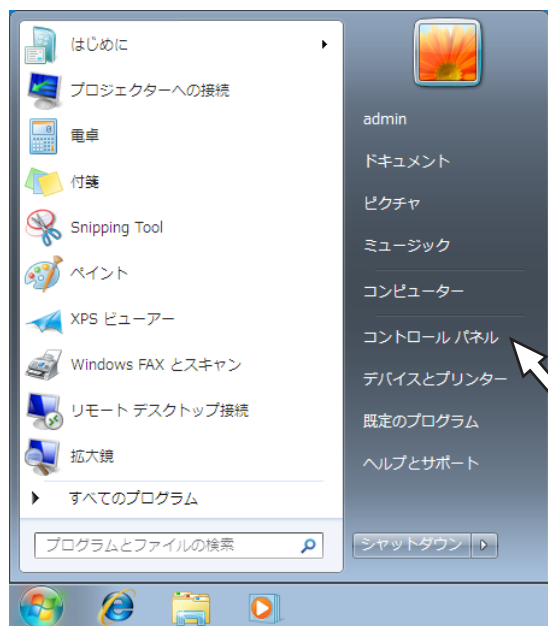
PCのネットワーク設定を行う

PCのTCP/IPの設定を本機の設定に合わせて変更します。本機を初期設定値（IPアドレス: 192.168.0.240）で使用する場合は、PCのIPアドレスを「192.168.0.xxx（xxxは2~254。ただし、240（本機）を除く）」に設定します。本書では、Windows 7の標準設定を例に設定方法を説明します。その他のOSをご使用の場合は、該当するOSの取扱説明書をお読みください。

ネットワーク設定を行う (つづき)

STEP1

スタート画面からコントロールパネルを選択します。



→コントロールパネルが表示されます。

重要

- 「コンピュータの管理者」権限のあるユーザーでログインし起動してください。

STEP2

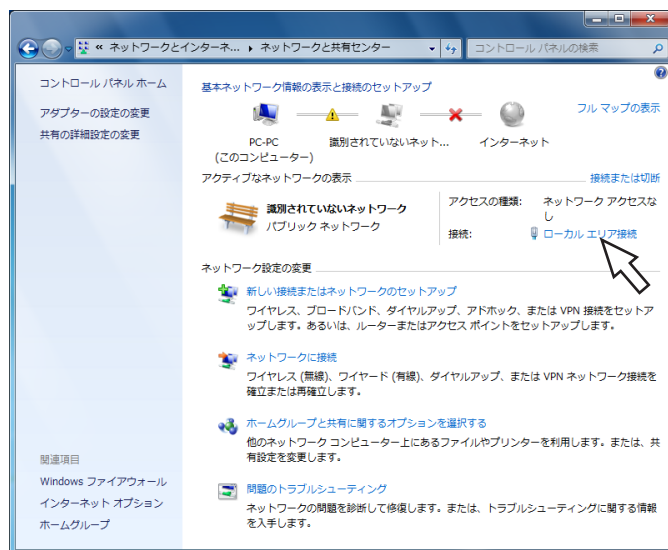
「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



→ネットワークと共有センター画面が表示されます。

STEP3

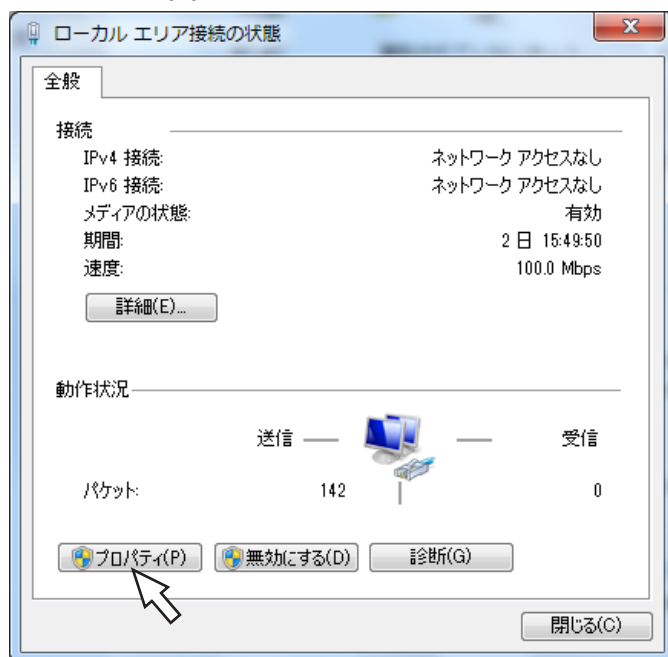
「ローカルエリア接続」をクリックします。



→ローカルエリア接続の状態画面が表示されます。

STEP4

「プロパティ (P)」をクリックします。

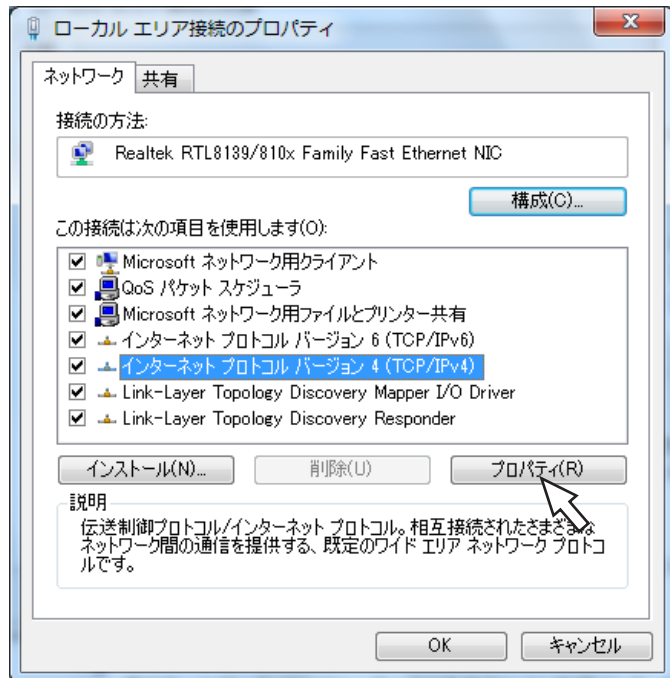


→ローカルエリア接続のプロパティ画面が表示されます。

ネットワーク設定を行う (つづき)

STEP5

「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」をクリックし、[プロパティ (R)] をクリックします。

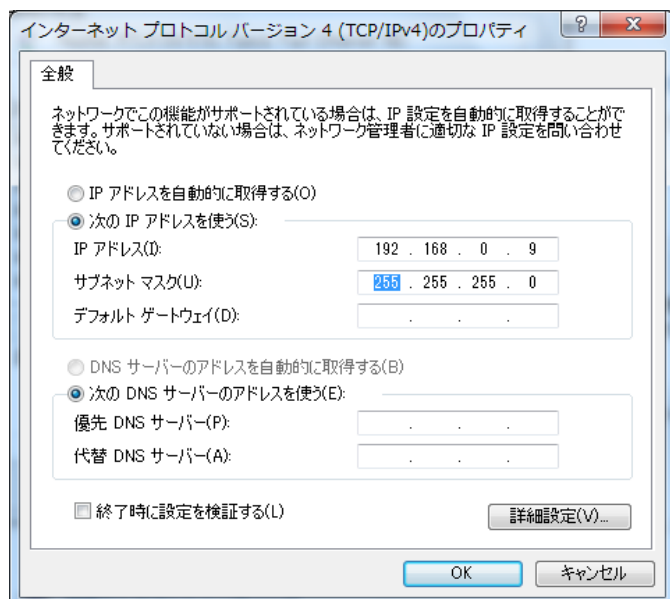


→インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ画面が表示されます。

STEP6

[次のIPアドレスを使う(S):] をクリックし、「IPアドレス(I):」と「サブネットマスク(U):」を以下のように設定します。

- IPアドレス : 192.168.0.9
- サブネットマスク : 255.255.255.0



ネットワークの構成によっては「デフォルトゲートウェイ(D):」の設定が必要です。設定については、システムの管理者にご確認ください。

STEP7

[OK] ボタンをクリックし、画面を閉じます。

本機のネットワークセキュリティについて

本機に装備されているセキュリティ機能

①ユーザー認証によるアクセスの制限

ユーザー認証の設定を「On」にすることで、本機にアクセスできるユーザーを制限することができます。
(☞32ページ)

②HTTPポートの変更によるアクセスの制限

HTTPのポート番号を変更することで、ポートスキャンなどの不正アクセスを防止することができます。
(☞30ページ)

重要

- 認証情報（ユーザー名、パスワード）などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証で、アクセス制限するなどの対策を実施してください。
- 管理者で本機にアクセスしたあとは、セキュリティ強化のため、必ずすべてのウェブブラウザを閉じてください。
- 管理者のパスワードは、セキュリティ強化のため、定期的に変更してください。

セキュリティ強化のために

本機とカメラ間の通信を暗号化し、ネットワークセキュリティを強化します。また、画像データを暗号化することで、さらにセキュア性を向上することができます。

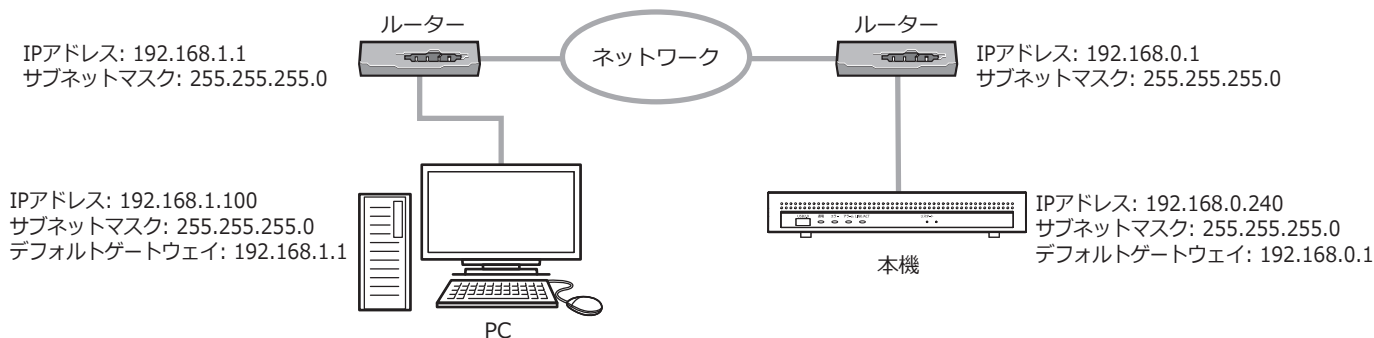
また、下記の対策によりネットワークセキュリティを強化することも可能です。

ルーターを使用してサブネットに分け、本機とルーターでIPアドレスによる認証を2重に行うことでネットワークセキュリティを強化します。本機をセキュリティの確保されていないネットワークに接続する場合、本機とホストPCの間にVPN (Virtual Private Network) 機器を挿入するなどして、セキュリティを確保してから接続してください。

重要

- ネットワークのセキュリティの設定は、本機が接続される社内LAN (Local Area Network) やサービスプロバイダーなどの設定により異なります。各ネットワークのセキュリティについての詳細は、各ネットワークの管理者にお問い合わせください。

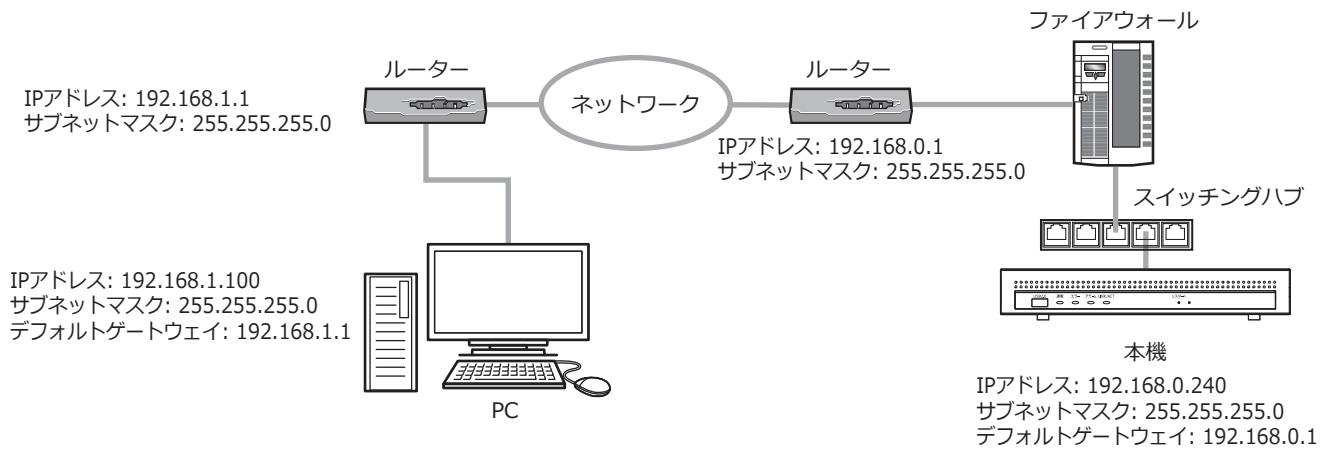
[接続例]



本機のネットワークセキュリティについて（つづき）

さらにファイアウォールなどを使用し、パケットフィルタリングやプロトコルフィルタリングを行うことで、ネットワークセキュリティを強化します。

[接続例]



設定画面を表示する

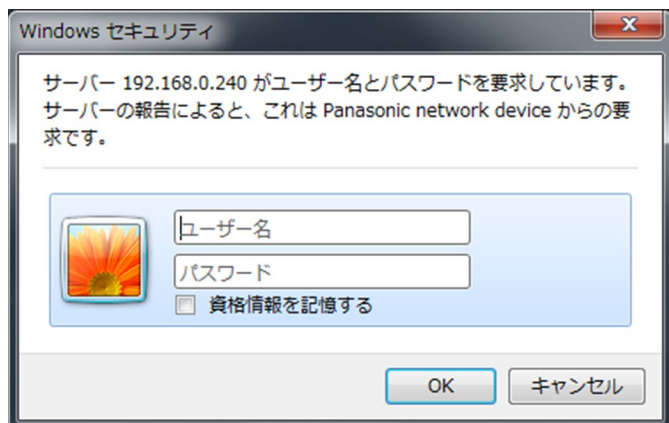
PCを起動して、インストールされているウェブブラウザから本機を設定します。

STEP1

ウェブブラウザを起動します。

STEP2

本機に設定されたIPアドレス、または本機のURLを [アドレス] ボックスに入力し、Enterキーを押します。



→認証画面が表示されます。設定メニュー [詳細設定] の [ユーザー管理] - [基本] タブの「ユーザー認証」が「Off」に設定されている場合、この画面は表示されません。

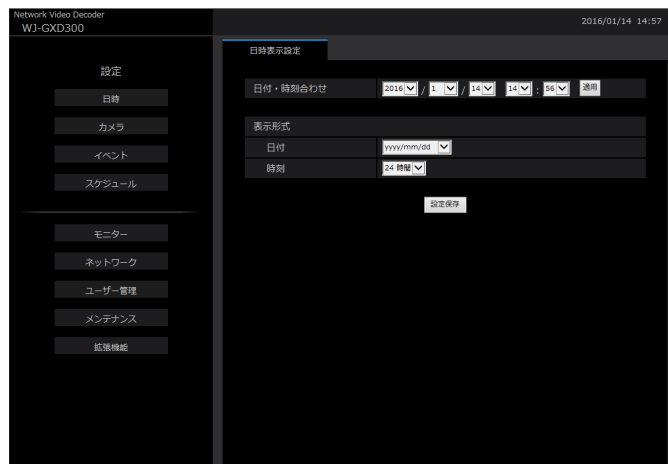
重要

- 設定してあるIPアドレスについてはネットワークの管理者にご確認ください。
- IPアドレスを入力するときは、先頭に「0」を付けないでください。
例：○ 192.168.0.50
× 192.168.0.050
- 文字が表示されない場合は、IEの互換表示設定と信頼済みサイトに、本機に設定されたIPアドレスを追加してください。

STEP3

本機に登録されているユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。

→設定画面が表示されます。

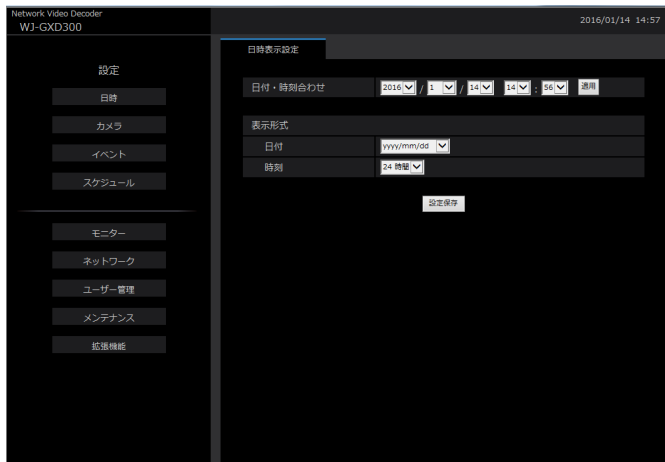


重要

- 設定してあるユーザー名、パスワードについてはシステムの管理者にご確認ください。
- ユーザー登録のしかたは33ページをお読みください。
- パスワードは定期的に変更してください。パスワードの変更方法は、33ページをお読みください。
- 本体で設定中はログインできません。

設定画面について

ログインすると、以下の設定画面が表示されます。本機の日時表示などの設定を変更することができます。各種設定項目や設定内容の詳細については10ページ以降の「本体設定」をお読みください。また基本的な操作方法については69ページをお読みください。



【日時】 ボタン

日時ページを表示します。日時の設定などを行います。

【カメラ】 ボタン

カメラページを表示します。
カメラの登録を行います。

【イベント】 ボタン

イベントページを表示します。アラームに関する設定を行います。

【スケジュール】 ボタン

本体操作に合わせる、または各種設定に合わせる。レコーダーに合わせる。設定を行います。

【モニター】 ボタン

メインモニターに関する設定を行います。

【ネットワーク】 ボタン

ネットワーク接続に関する設定を行います。

【ユーザー管理】 ボタン

ユーザーの登録、変更、削除や管理者設定を変更します。

【メンテナンス】 ボタン

本機のシステム情報を表示します。ライセンスの登録やソフトウェアの更新を行います。

【拡張機能】 ボタン

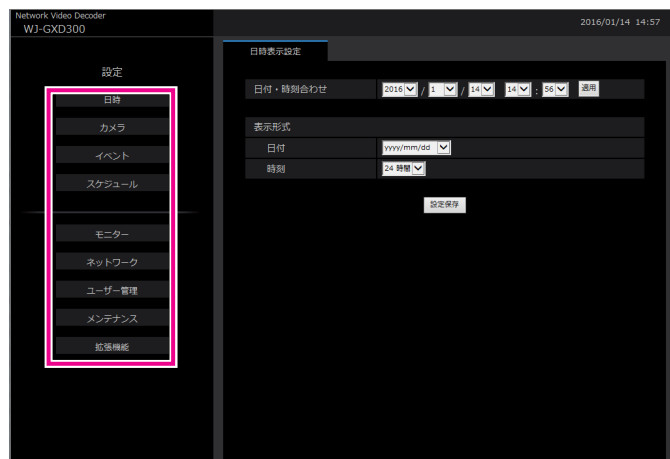
カメラ拡張機能を設定します。

設定する

基本的な設定のしかた

STEP1

設定したいメニューのボタンをクリックします。



STEP2

設定したいサブメニューのタブをクリックします。

STEP3

各項目を設定します。設定したら [設定保存] ボタンをクリックします。

→設定した内容が本機に反映されます。[設定保存] ボタンをクリックしないで他のページに移動すると、変更した内容が破棄されます。

重要

- ウェブブラウザにログイン中は、本体での操作ができません。
- ユーザー管理に関する設定を変更すると、強制的にログアウトします。
- 設定保存直後、モニターが数秒間黒画表示することがあります。

設定する（つづき）

ソフトウェアの更新を行う

本機のソフトウェアを最新のバージョンに更新する場合は、以下の手順で行います。
ソフトウェアをUSBメディアに保存した場合の操作方法については、38ページをお読みください。

STEP1

最新のソフトウェアをPCにダウンロードします。

STEP2

[メンテナンス] ボタンをクリックし、[システム管理] タブをクリックします。



STEP3

ソフトウェアの更新の [参照] ボタンをクリックしてダウンロードしたソフトウェアを指定します。

STEP4

[実行] ボタンをクリックします。
→表示された確認画面から更新処理を開始します。

メモ

- バージョンアップ中は、機器の電源を切ったり、ネットワークケーブルを抜いたりしないでください。
- ソフトウェアの更新については、お買い上げの販売店（設置工事店）にお問い合わせください。

イベント機能について

本機は以下のイベントが発生すると、設定に従いイベント動作を行います。

- カメラサイトアラーム：カメラで検出したアラーム（カメラ端子アラームなど）
- コマンドアラーム：ネットワークを経由してPCなどから入力したアラーム

イベント発生時の動作

イベントが発生し本機がイベントを認識すると、設定されている動作モードに従ってイベント動作を行います。イベント動作、動作モードについては、「イベント発生時の動作」（☞59ページ）をお読みください。ここでは、PCから設定・確認できるイベント発生時の動作について説明します。

ログ情報を表示する



アラーム履歴を表示する

設定パネル→メンテナンス→システム管理→ログ情報→アラームログ→表示ボタンをクリックします。
→アラーム履歴が表示されます。

アラームログ		
No.	発生日時	内容
001	2018/08/23 19:41:24	コマンドアラーム：2
002	2018/08/23 19:41:20	コマンドアラーム：1
003	2018/08/23 19:41:15	コマンドアラーム：1
004	2018/08/23 19:41:09	コマンドアラーム：2
005	2018/08/23 19:40:53	コマンドアラーム：1

エラー履歴を表示する

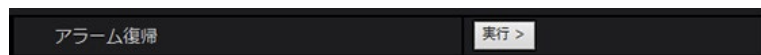
設定パネル→メンテナンス→システム管理→ログ情報→エラーログ→表示ボタンをクリックします。
→エラー履歴が表示されます。

エラーログ		
No.	発生日時	内容
001	2018/08/23 9:06:14	NWリンクエラー：カメラ/PCポート
002	2018/08/23 8:59:37	ファン異常：MAIN 1
003	2018/08/23 3:29:27	読み込みエラー：USB
004	2018/08/23 2:16:41	書き込みエラー：USB
005	2018/08/23 2:15:57	ファン異常：MAIN 1
006	2018/07/04 15:08:32	通信復旧：カメラ2
007	2018/07/04 15:08:32	通信エラー：カメラ2
008	2018/07/04 10:12:46	システム再起動(CPU)
009	2018/07/03 13:36:58	通信復旧：カメラ2
010	2018/07/03 13:36:57	通信エラー：カメラ2
011	2018/06/27 10:06:46	通信エラー：カメラ2
012	2018/06/27 0:49:02	ファン異常：MAIN 2

イベント機能について（つづき）

アラーム動作を解除する

アラーム動作を手動で解除するには、設定パネル—メンテナンス—システム管理—保守・サービス用機能—アラーム復帰—実行ボタンをクリックします。



→アラーム動作が解除されます。アラーム枠表示を消しアラーム動作前の状態に戻ります。

エラー動作を解除する

エラー（障害）が発生すると、本機はエラー動作（エラーが発生していることを知らせる一連の動作）を行います。エラー動作を手動で解除するには、設定パネル—メンテナンス—システム管理—保守・サービス用機能—エラー復帰—実行ボタンをクリックします。



→エラー動作が解除されます。

メモ

- エラーが発生したら、エラー履歴表示パネル（☞52ページ）に表示された対処方法に従い、対策を行ってください。本機前面のエラーランプは、エラーの原因が解消されると消灯します。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象のときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店（設置工事店）にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
カメラの音声が出力しない または音声にノイズがのる	<ul style="list-style-type: none"> カメラの音声圧縮方式は、本機に対応していますか？ 本機は「G.726 (32 kbps)」、「AAC-LC (64 kbps)」、「G.711 (32 kbps、他社ONVIFカメラ使用時)」のみに対応しています。接続しているカメラの設定を確認してください。 	-
カメラを制御できない	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニュー [基本設定] の [カメラ] - [カメラ登録] で表示されているカメラ品番とIPアドレスが正しいか確認してください。 	12
	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニュー [基本設定] の [カメラ] - [カメラ登録] でユーザー名、パスワードが入力してあることを確認してください。 	14
外部記憶装置を挿入しても「メディアが挿入されていません」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> 外部記憶装置挿入後、メディアの認識に時間がかかることがあります。メッセージ画面を閉じて、しばらくしてからもう一度操作してください。 	-
ウェブブラウザからアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> 後面のネットワークポートに10BASE-T、100BASE-TXまたは1000BASE-Tケーブルが接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。 	取扱説明書 基本編
	<ul style="list-style-type: none"> 後面のネットワークポートのリンクLEDが点灯していますか？点灯していない場合は、LANに接続されていないか、接続先のネットワークが正常に動作していません。 接続表示ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合はシステムの管理者にご確認ください。 	取扱説明書 基本編
	<ul style="list-style-type: none"> 有効なIPアドレスが設定されていますか？ システムの管理者にご確認ください。 	29
	<ul style="list-style-type: none"> 間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ 次のようにPCのコマンドプロンプトからpingコマンドで接続を確認してください。 > ping 「本機のIPアドレス」 を実行し、本機からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。Replyが返ってこない場合は、IP アドレス、サブネットマスクの設定を確認してください。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ システムの管理者にご確認ください。 	29
	<ul style="list-style-type: none"> 設定したIPアドレスと設置先のネットワーク/サブネットマスクが矛盾していませんか？ 同一サブネット内に本機とクライアント（PC）が接続されている場合、本機とクライアント（PC）のIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか？ また、ウェブブラウザで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」設定にすることをおすすめします。 	29
ウェブブラウザの画像更新速度が遅い レスポンスが遅い	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークが混雑していませんか？ ネットワークが混雑しているとき、左記症状が発生します。 	-
ウェブブラウザで表示されないポップアップ表示がある	<ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer 以外のポップアップブロッカーが働いている可能性があります。インストール状況を確認し、ポップアップブロッカーを解除してください。 	-
設定画面を表示したときに表示された認証ウィンドウを終了できない	<ul style="list-style-type: none"> 正しいユーザー名、パスワードを入力していますか？ ユーザー名、パスワードを確認してください。 	33
外部記憶装置が認識されない	<ul style="list-style-type: none"> USB3.0またはUSB2.0に対応した外付けHDDまたはUSBメモリーですか？ exFAT、FAT32またはFAT (FAT16) 形式でフォーマットされていますか？ 外部記憶装置の容量が32 GB以内ならFAT32、64 GB以上ならexFATでフォーマットされている必要があります。 パスワード認証が付いていたり、複数パーティション構成になっていませんか？ USB バスパワーで動作するハードディスク装置を使用していませんか？ 保護回路が働いて電源供給が停止しますので、必ず外部電源で動作するハードディスク装置を使用してください。 USBケーブルを接続したまま本機を起動すると、まれに外部記憶装置を認識しない場合があります。本機が起動してからケーブルを接続してください。 	-

故障かな!?(つづき)

現象	原因・対策	参照ページ
カメラとの接続方法でHTTPSを選択した後、[拡張機能] - [セキュリティ] 設定画面の接続方法の障害情報に「SSL通信不可」が表示された。	<ul style="list-style-type: none"> 以下の手順を実施してください。 <ul style="list-style-type: none"> [拡張機能] - [セキュリティ] 設定画面の [本機とカメラ間のセキュリティ] - [接続方法] 項目の [設定>] ボタンをクリックします。 当該カメラの接続方法がHTTPSに、ポート番号が00443に設定されていることを確認してください。異なる場合は00443に設定してください。 設定を終了します。 もし改善しない場合は、さらに以下の手順を実施してください。 <ul style="list-style-type: none"> [拡張機能] - [セキュリティ] 設定画面の [本機とカメラ間のセキュリティ] - [接続方法] 項目ボタンをクリックし、当該カメラの接続方法をHTTPに設定してください。 [カメラ] - [カメラ登録] 設定画面の [登録情報の変更] 項目の [設定>] ボタンをクリックします。当該カメラのポート番号が00080に設定されていることを確認してください。異なる場合は00080に設定してください。設定を終了後、改めて設定画面を開きます。 [拡張機能] - [セキュリティ] 設定画面の [本機とカメラ間のセキュリティ] - [接続方法] 項目の [設定>] ボタンをクリックし、当該カメラの接続方法をHTTPSに再設定してください。 	-
モニター画面上に「温度異常」が表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 本体の使用温度範囲は 0℃～+50℃です。本機は内部温度情報を元に「温度異常」を表示します。「温度異常」が表示される場合は、設置環境を見直し、周囲温度を+25℃程度とするようお勧めします。「温度異常」が頻繁に表示される場合は、販売店(設置工事店)にご相談ください。 	取扱説明書 設置編
	<ul style="list-style-type: none"> ファンが故障していないか確認してください。 	47
モニター画面上に「映像遅延:カメラ番号」が表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の通風孔、放熱ファンをふさいでいないか、また、通風孔にほごりがたまっていないか確認してください。 	取扱説明書 設置編
	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルは正しく接続されていますか? マウスによっては認識されない場合があります。本機付属のマウスをご使用ください。 	-
カメラ設定が本機の描画性能(☞57ページ)を超えると、映像が遅延する場合があります。5秒以上遅延が続くとエラー出力します(H.264/H.265の場合は、約13時間周期で遅延の監視をリセットするため、映像の遅延速度が低いと検出されることがあります)。画面分割パターンを小さくする、または、カメラの解像度、フレームレート、ストリーム選択の見直しを行ってください。	<ul style="list-style-type: none"> データ暗号設定がOnのカメラはDecode errorと表示されます。 画像が壊れて表示される場合は、本機のデータ暗号設定とカメラのJPEGのデータ暗号設定が一致しているか確認してください。 	56、57
ウェブブラウザの設定メニューでカメラのサムネイル画像やプレビュー画像が正常に表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> HDMI出力の信号形式はご使用のモニターのスペックとあっていますか? HDMI出力の信号形式を固定する場合は、モニターが対応している信号形式を設定してください。 本機とモニターの間 HDMI切替器を使用していませんか? HDMI切替器の仕様によっては、正しく動作しない場合があります。また、バスパワー駆動対応の HDMI切替器においても、安定した動作をさせるために、外部電源で動作する状態でご使用ください。 HDMI規格に準拠しているケーブルを使用していますか? HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しない場合があります。また、画質の劣化防止や安定した動作のため、HDMIケーブルは5m以下のものをご使用ください。 	42
HDMIモニターに映像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> カメラによって、Internet Explorerをサポートしていない機種があります。カメラがサポートしているウェブブラウザで、カメラに接続してください。 	28、 取扱説明書 設置編
ウェブブラウザ (Internet Explorer) の設定メニューからカメラのウェブブラウザを開くと、使用しているブラウザがサポートされていないと表示される。	<ul style="list-style-type: none"> カメラによって、Internet Explorerをサポートしていない機種があります。カメラがサポートしているウェブブラウザで、カメラに接続してください。 	-

用語集

<アルファベット・数字>

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

PCがネットワークに接続する際に必要な情報をサーバーから自動的に取得するためのプロトコルです。

DNS (Domain Name System)

ネットワーク環境上で使用されるIPアドレスは、覚えにくく実用的ではありません。このため、PCにわかりやすい名前（ドメイン名）をつけ、それをIPアドレスに変換して通信を行います。このドメイン名とIPアドレスを対応させるしくみです。

FHD (Full HD)

1920×1080ピクセルの解像度のことです。

H.264

動画データの圧縮方式の1つです。

H.265

動画データの圧縮方式の1つで、H.264より高い動画圧縮率を有しています。

HD (High Definition)

1280×720ピクセルの解像度のことです。

HVGA (Half VGA Wide)

640×360ピクセルの解像度のことです。

IPアドレス (Internet Protocol Address)

インターネットやイントラネットなどのIPネットワークに接続されたPCや通信機器1台1台に割り振られた識別番号のことです。特にインターネット上ではこの数値に重複がないように割り振っておく必要があります。

LAN (Local Area Network)

同じ建物の中やフロア内、キャンパスなど比較的狭い地域にあるPCやプリンターなどを接続し、データをやり取りするネットワークのことです。

MACアドレス (Media Access Control address)

ネットワーク機器に割り付けられる固有の物理アドレスです。これを元に機器間のデータの送受信が行われます。

MJPEG

カメラから連続的にJPEG画像を送信する動画方式です。カメラによってはJPEGと表現される場合があります。

NTP (Network Time Protocol)

ネットワークに接続された機器の内部時計を正しく調整するプロトコルです。

QXGA (Quad-XGA)

2048×1536ピクセルの解像度のことです。

RTP (Real-time Transport Protocol)

音声や動画などのデータをUDPを用いてリアルタイムに配信するプロトコルです。UDPを使用しているため、データの喪失や遅れが発生しますが、受信側は、喪失や遅れたパケットは無視してデータの再生を行います。また、音声や動画のマルチキャスト配信が可能です。

RTSP (Real Time Streaming Protocol)

音声や動画などリアルタイム性のあるデータの配信を制御するためのプロトコルです。データ転送は基本的にTCPを使用し、信頼性の高い配信を行えます。

SNMP (Simple Network Management Protocol)

ルーターやPC、カメラ、ネットワークディスクレコーダー、ネットワークビデオデコーダーなど、ネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

SVGA (Super VGA)

800×600ピクセルの解像度のことです。

SXVGA

1280×960ピクセルの解像度のことです。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

インターネットやイントラネットで標準的に使われるプロトコルです。

URL (Uniform Resource Locator)

インターネット上にある文書や画像などの情報資源のある場所を指し示す記述方式で、インターネットにおける情報の「住所」にあたります。

USBメディア

ユニバーサル・シリアル・バスインターフェースを持つ、着脱可能な外部記憶装置で、USBメモリーや外付けハードディスクのことです。

VGA (Video Graphics Array)

640×480ピクセルの解像度のことです。

VPN

公衆回線を専用回線のように利用できるサービスです。コストのかかる専用回線の代替になる新しい通信として企業を中心に浸透しています。認証技術や暗号化を用いて保護された回線を提供するサービスもあります。

用語集（つづき）

WAN

電話回線や専用線を使って、本社－支社間など地理的に離れた地点にあるPC同士を接続し、データをやり取りします。

<あ>

イベント

本機が特別な動作（イベント動作）を行うきっかけとなる事象を表します。イベントには、コマンドアラーム、カメラサイトアラームがあります。

イベント動作

イベント発生時に行う特別な動作を表します。アラーム動作はイベントの発生を画面表示、本機前面の状態表示ランプなどで外部に通知します。イベントの発生を通知する動作は行わず、イベントログへの記録のみを行うこともできます。Off設定時は、イベントログへの記録のみを行います。

<か>

解像度

本機がカメラ画像を表示する際の画像のきめ細かさや画質の滑らかさを表す尺度です。

魚眼画像補正

当社製全方位ネットワークカメラの魚眼画像を1画PTZや4画PTZに補正して表示する機能です。

グローバル（IP）アドレス（global address）

インターネットに接続された機器に1つ1つ割り振られたIPアドレスです。インターネット上の住所に相当するもので、インターネット通信の際には必ず使用されます。これに対し、組織内のネットワークで自由に割り振ることができるプライベート（IP）アドレスがあります。

<さ>

サブネット（subnet）

大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワークです。大企業などではネットワーク管理や回線の分配を効率よく行うために、ネットワークをいくつかの小さな単位に分割して管理する場合があります。このような場合に、管理単位となる小さなネットワークをサブネットといいます。

サブネットマスク（subnet mask）

サブネット内のIPアドレスのうち何ビットをネットワークを識別するためのネットワークアドレスに使用するかを定義する数値です。ネットワークアドレス以外の部分が、サブネット内のPCを識別するホストアドレスと呼ばれます。

スマートコーディング（GOP制御）

画像内に動きの少ない場合に、画像のリフレッシュ間隔を長くして、配信のデータ量を低減させるカメラ側の制御方法です。

セカンダリー（DNS）サーバー（secondary DNS server）

DNSサーバーは通常2系統以上用意することになっており、そのうちの副系統（サブ）のサーバーです。主系統（プライマリー）のサーバーにトラブルが発生した時などに処理を肩代わりします。

全二重（full duplex）

双方向通信で、独立した送信回線と受信回線を用意し、送信と受信を同時に行えるようにした通信方式のことです。

<た>

ダイジェスト認証

カメラにアクセスするときのユーザー認証で利用する認証方式のひとつです。ユーザー名とパスワードをハッシュ関数で暗号化してカメラにアクセスします。ベーシック認証よりセキュリティが高い認証方式です。（ベーシック認証の項参照）

多画面表示

本機は、ライブ画像表示のときに、複数のカメラの画像を同時に表示することができます。4台のカメラ画像を同時に表示することを4画面表示、16台のカメラ画像を同時に表示することを16画面表示と呼びます。

デフォルトゲートウェイ（gateway）

組織内のLANなどのネットワークから外部のネットワークのPCへアクセスするために使用する窓口となるネットワーク機器のことです。

独自アラーム

当社のカメラから独自アラーム（カメラサイトアラーム）を受信して、本機をイベント動作させる場合に使用します。

用語集 (つづき)

<は>

半二重 (half duplex)

双方向通信で、1つの通信回線を使用して、送信と受信を切り換えながら通信する方式のことです。

ビットレート (bit rate)

単位時間あたりに何ビットのデータが処理または送受信されるかを表します。単位としては一般的に「ビット毎秒」(bps: bits per second) が使われます。画像データや音声データがどのくらいの圧縮をしているかを表したり、通信回線が1秒間にどのくらいのデータを送受信できるかを表したりするのに使います。

ファイアウォール (firewall)

インターネットなどの外部のネットワークを利用する際のセキュリティの1つで、組織内のネットワークへ外部から侵入されるのを防ぐシステムやそのようなシステムが組みこまれたPCです。

プライベート (IP) アドレス (private address)

主に組織内のLANなど、ネットワークに接続されたときに割り振られたIPアドレスです。プライベート (IP) アドレスは申請を行わなくても組織内で自由に割り振ることができます。ただし、プライベート (IP) アドレスだけでは、インターネット通信ができないためグローバル (IP) アドレスを割り振られたルーターなどの機器で中継する必要があります。

プライマリー (DNS) サーバー (primary DNS server)

DNSサーバーは通常2系統以上用意することになっており、そのうちの主系統 (メイン) のサーバーです。

プラグインソフトウェア

アプリケーションソフトウェアに機能を追加するためのプログラムです。

プロトコル (protocol)

さまざまな情報を種類の異なる複数のPCなどでデータを交換する際の通信規約 (約束事) の集合です。インターネットでは「TCP/IP」などのプロトコルがあります。

ベーシック認証

カメラにアクセスするときのユーザー認証で利用する認証方式のひとつです。
ユーザー名とパスワードをBase64方式で変換してカメラにアクセスします。
(ダイジェスト認証の項参照)

ポート番号 (port number)

インターネット上の通信 (TCP、UDPなど) で、複数の相手と同時に接続するために、IPアドレスの下に設けられたサブ (補助) アドレスです。

<ら>

ルーター (router)

異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを介して送信されるデータをきちんと目的の場所に届ける役目をもっています。ネットワーク内を流れてきたデータが外部のネットワークへあてであれば、ルーターはそのデータを外部に送り出し、ルーターはそのときにどういう経路でデータを配信するかまで判断し、最適なルートに送りだしています。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

i-PRO製品の「お問い合わせ」については、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。

https://i-pro.com/jp/ja/support_portal

i-PRO株式会社

<https://www.i-pro.com/>